

様式第1号（第7条関係）

令和7年12月31日

伊勢崎市議会議長 大木 光 様

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ  
会長 野田 文雄

令和7年度政務活動費支出状況報告書（第3四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり令和7年度第3四半期（10月から12月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

1 支出状況

（単位：円）

科 目	今期支出額	左のうち、 今期概算払受領済額	備考
調査研究費	377,140	263,400	
研修・会議費	881,332	796,190	
資料作成費			
資料購入費	58,910		
広報広聴費	1,301,451	446,061	
要請・陳情活動費			
人件費			
事務所費	2,024		
合 計	2,620,857	1,505,651	

- 2 交付限度額 6,720,000 円  
3 既交付額 2,709,696 円  
4 今期請求額 1,115,206 円  
5 未交付額 2,895,098 円  
6 添付書類  
(1) 領収書  
(2) 視察等報告書  
(3) 会計帳簿の写し  
(4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



## 令和7年度 政務活動費会計帳簿

交付限度額	6,720,000
既交付額	2,709,696
支出額計	3,381,569

会派名 : 伊勢崎クラブ

整理番号	日付	科目	内 容	収 入	支 出	差 引
1	R7.4.18	広報広聴費	活動広告作成・郵送代		133,102	-133,102
2	R7.4.25	資料購入費	全国農業新聞購読料(R7.4月～9月分)		4,200	-137,302
3	R7.6.3	資料購入費	書籍購入費(4冊)		8,030	-145,332
4	R7.6.13	広報広聴費	市政報告書封入及び宛名書き代、郵送代		55,220	-200,552
5	R7.6.20	資料購入費	タブレット用 Microsoft365Personal 1年版		19,364	-219,916
6	R7.6.25	資料購入費	上毛新聞購読料(4月～6月分)		11,700	-231,616
7	R7.6.30	資料購入費	上毛新聞購読料(4月～6月分)		11,700	-243,316
8	R7.7.16	広報広聴費	広報紙印刷代・折込代		37,965	-281,281
9	R7.7.17		第一四半期分入金	243,316		-37,965
10	R7.7.24	研修・会議費	伊勢崎クラブ市政報告会会場使用料		14,080	-52,045
11	R7.7.31		第一回概算払分入金(伊勢崎クラブニュース印刷代及び新聞折込代)	446,061		394,016
12	R7.8.13	広報広聴費	伊勢崎クラブニュース第42号印刷代及び新聞折込代		446,061	-52,045
13	R7.9.3	広報広聴費	市政報告書送付代		4,840	-56,885
14	R7.9.11		第二回概算払分入金(福島県福島市行政視察及び第87回全国都市問題会議参加)	953,140		896,255
15	R7.9.24	広報広聴費	議会報告書郵送代		2,750	893,505
16	R7.9.25	資料購入費	上毛新聞購読料		11,700	881,805
17	R7.10.15	広報広聴費	広報紙印刷代・折込代		37,965	843,840
18	R7.10.16		第二四半期分入金	71,335		915,175
19	R7.10.16	研修・会議費	福島県福島市行政視察及び第87回全国都市問題会議参加(10/8～10/10 福島市、宇都宮市)		796,190	118,985
20	R7.10.23		第三回概算払分入金(和歌山県海南市「海南nobinos」視察研修)	271,350		390,335
21	R7.10.30		第四回概算払分入金(伊勢崎クラブニュース市政報告会印刷代及び新聞折込代)	446,061		836,396
22	R7.10.30	資料購入費	全国農業新聞購読料(R7.10月～R8.3月分)		4,200	832,196
23	R7.10.31	調査研究費	和歌山県海南市「海南nobinos」視察研修		263,400	568,796
24	R7.10.31		第二回概算払い精算による戻入	-156,950		411,846

整理番号	日付	科目	内 容	収 入	支 出	差 引
25	R7.11.4	広報広聴費	伊勢崎クラブニュース市政報告会印刷代及び新聞折込代		446,061	-34,215
26	R7.11.6	調査研究費	会派行政視察(新潟県十日町市・五泉市)		105,740	-139,955
27	R7.11.17	研修・会議費	伊勢崎クラブ市政報告会諸経費		85,142	-225,097
28	R7.11.17	広報広聴費	市政報告チラシ作成・新聞折込み・ポスティング代		150,895	-375,992
29	R7.11.19	資料購入費	地図代		34,100	-410,092
30	R7.11.28		第三回概算払い精算による戻入	-7,950		-418,042
31	R7.12.10	広報広聴費	市政報告作成・新聞折込み・ポスティング代		198,000	-616,042
32	R7.12.11		第五回概算払分入金(伊勢崎クラブニュース印刷代及び新聞折込代)	443,333		-172,709
33	R7.12.11	広報広聴費	伊勢崎クラブホームページ管理費		71,830	-244,539
34	R7.12.11	調査研究費	群馬県看護連盟令和7年度賛助会費		8,000	-252,539
35	R7.12.13	事務所費	プリンターインク代		2,024	-254,563
36	R7.12.16	広報広聴費	市政活動報告書制作・印刷代・折込代		344,960	-599,523
37	R7.12.16	資料購入費	しんぶん赤旗購読料(令和7年4月～令和7年12月)		8,910	-608,433
38	R7.12.16	広報広聴費	市政報告印刷代		51,740	-660,173
39	R7.12.21	資料購入費	上毛新聞購読料(10月～12月分)		11,700	-671,873
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

17

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	佐藤 智則
支出年月日	令和 7年 10月 15日 (第3四半期)	支出額	37,965 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 7. 人件費	4. 資料購入費 8. 事務所費
備考	広報紙印刷代・折込代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 領収証

No. \_\_\_\_\_

伊勢崎クラブ(佐藤ともり)様 7年 10月 15日

金額	¥ 13,475
----	----------

但  ケテ 3500枚  飲食料品等(軽減税率対象)  
内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

現金・カード・( )

HiSAGO #778

読売センター伊勢崎南部

所長 高橋 亜樹

〒372-0832 群馬県伊勢崎市除ヶ町340-3

TEL 0270(32)8434 FAX 0270(32)8449

登録番号 T9070002019420

登録番号

## 領 収 証

伊勢崎クラブ(佐藤ともり)

No. \_\_\_\_\_

★ ¥ 9,625

但 折込料 2500枚 (1%×4枚) @3.5  
2029年 10月 15 日 上記正に領収いたしました

内訳

〒372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町2-947-13

取入

税抜金額 8,990

印紙

消費税額等(0%) 895

コクヨ ウケ-55

有限会社 亀屋新町舗

代表取締役 清水 俊浩

電話 0270(24)2662

T6-0700-0201-8722

## 領収書



伊勢崎クラブ 佐藤 智則 様

取引年月日：2025年10月09日(木)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-251007007400

合計金額 (税込) 14,865円

10%対象 14,865円 (内消費税: 1,351円)

ラクスル株式会社



〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
251007007400-01	チラシ・フライヤー / A4 /両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg	6,500部	13,514円	出荷予定日: 2025年10月11日 議会だより30原稿_20251002_3

「\*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容 商品合計: 13,514円

小計 (税抜) 13,514円

合計金額 (税込) 14,865円

お支払い方法:

お客様へ（必ずご確認ください）

本画面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム（<https://raksul.com/contact/>）からご連絡ください。

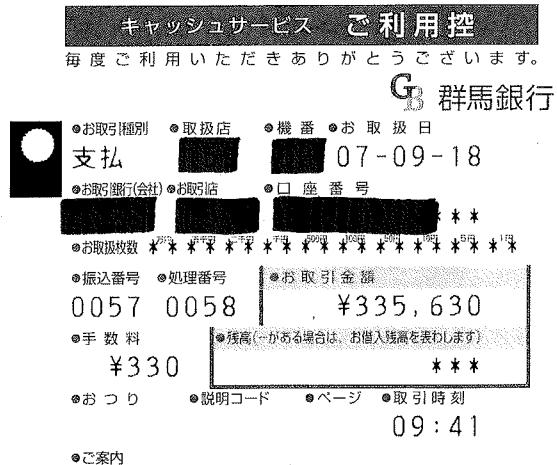
# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

19

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 10 月 16 日 (第 3 四半期)	支出額	796,190 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 7. 人件費	4. 資料購入費 8. 事務所費
備考	福島県福島市行政視察及び第86回全国都市問題会議参加 (10/8~10/10、福島県福島市・福島県宇都宮市)		

## ◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



口座番号  
受取人名  
カク"スマトラヘルエーリー" 様  
ソニー  
依頼人名  
イセサキシキ"カイイセサキクラブ" 様

\*振込金額のうち政務活動費の対象金額は  
290,140円

### 【内訳】

- JR券代  $25,670\text{円} \times 11\text{人} = 282,370\text{円}$
- 欠席者① 払戻手数料 = 1,920円
- 欠席者② 払戻手数料 = 1,920円
- 欠席者③ 払戻手数料 = 3,600円
- 振込手数料 = 330円

領 取 証

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ様

令和 7 年 9 月 18 日

金	¥	3	3	5	6	3	0	*
---	---	---	---	---	---	---	---	---

但し JR券代、払戻手数料

上記金額正に領収いたしました

税率 10%	税抜・税込 ¥ 335,630
消費税額 ¥	30,511
税率 8%	税抜・税込 ¥
消費税額 ¥	

株式会社 群馬トラベルエージェンシー

群馬県伊勢崎市今泉町1-1210-3  
TEL.0270-23-8555

登録番号: T3070001013264

200円

発行者印

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 19

## 欠席者② 払戻手数料

領 収 書 伊勢崎クラブ 様  
 Receipt 領收年月日 2025.10.1 登録番号: T9011001029597  
 金額 ¥1,020 税10%

上記金額確かに領收回しました  
 購入商品 手数料  
 ( 東日本旅客鉄道株式会社 前橋駅 VF2 発行 40123-02 )

印紙税申告納付	につき渋谷
税務署承認済	

領 収 書 伊勢崎クラブ 様  
 Receipt 領收年月日 2025.10.1 登録番号: T9011001029597  
 金額 ¥680 税10%

上記金額確かに領收回しました  
 購入商品 手数料  
 ( 東日本旅客鉄道株式会社 前橋駅 VF2 発行 20114-02 )

印紙税申告納付	につき渋谷
税務署承認済	

領 収 書 伊勢崎クラブ 様  
 Receipt 領收年月日 2025.10.1 登録番号: T9011001029597  
 金額 ¥220 税10%

上記金額確かに領收回しました  
 購入商品 手数料  
 ( 東日本旅客鉄道株式会社 前橋駅 VF2 発行 10106-02 )

印紙税申告納付	につき渋谷
税務署承認済	

## 欠席者③ 払戻手数料

払戻計算書  
 商品名 : J フレキシブル乗車券類 7枚  
 原券金額 : ¥25,670- 税10%  
 払戻対象額 : ¥25,670- 税10%  
 手数料 : ¥3,600- 税10%  
 払戻額合計 : ¥22,070- 使用開始日: 2025.10.-8  
 (現金扱い)  
 原券購入日: 2025.9.8  
 東日本旅客鉄道㈱(T9011001029597)  
 2025.10.-8 03:33 00238-01 伊勢崎駅 VA1 発行

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 19

最寄駅が国定駅の参加者の乗車券追加購入

領 収 書 伊勢崎ワラブ 様  
 Receipt 伊勢崎ワラブ 様  
 領收年月日 2025.10.6 登録番号: T9011001029597  
 金額 ¥660 税 10%

上記金額確かに領収いたしました  
 購入商品 JR乗車券類  
 (40011 2枚)  
 東日本旅客鉄道株式会社  
 伊勢崎駅VA1発行 20016-02

印紙税申告納  
 付につき渋谷  
 税務署承認済

## 領 収 証

No. \_\_\_\_\_

7 年 10 月 6 日

伊勢崎ワラブ 様

★ 2,650 -

但 ワロハ

上記正に領収いたしました

伊勢崎市本町 2-8

内 訳		
税率	金額(税抜・税込)	消費税額等
8 %	2,650	196
税率 %	金額(税抜・税込)	消費税額等

Ca-1036

赤石屋 小林政章

TEL 25-1127

登録番号 T7810031988536

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 19

キャッシュサービス ご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます。

G 群馬銀行

支払 お取引種別 取扱店 機番 お取扱日  
07-09-16

お取引銀行(会社) お取扱店 口座番号  
[REDACTED] [REDACTED] \*\*\*

お取扱枚数 \*\*\* お取引金額  
0319 0320 ¥540,800

振込番号 处理番号 お取引料  
￥550

手数料 残高(一がある場合は、お借入残高を表わします)  
￥550 \*\*\*

おつり 説明コード ページ 取引時刻  
13:13

ご案内 [REDACTED]

口座番号 [REDACTED]  
受取人名又はJTB 様

依頼人名イセサキツキ カイイセサキクラフ 様

※振込金額のうち政務活動費の対象金額は

502,740円

## 【内訳】

- ・会議参加費 13,000円 × 13人 = 169,000円
- ※欠席者2人については、期限後取消のため  
会議参加費を負担
- ・宿泊代金 14,300円 × 2泊 × 11人 = 314,600円
- ・欠席者宿泊代金取消料① = 5,720円
- ・欠席者宿泊代金取消料② = 12,870円
- ・振込手数料 = 550円

収入印紙

株式会社JTB 宇都宮支店  
〒320-0801  
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階  
担当者:支店長 鹿野 英克



領収証番号:325391441000230001  
登録番号:T8010701012863

## 領 収 証

伊勢崎クラブ 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計	¥169,000	(税込)
イベント名	第87回全国都市問題会議	
イベント会期	2025/10/09 ~ 2025/10/10	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
(10%対象)	¥169,000	¥0 -
(8%対象)	¥0	¥0 -
(対象外)	¥0	¥0 ※1
入金額	¥169,000	¥0 ※2
請求残額	¥0	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

### 領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

# 領 収 明 級

領収証発行日: 2025/10/16

2 / 2

領収額合計

¥ 169,000

(税込)

## 【内訳】

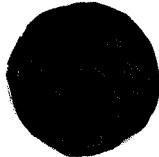
イベント名	第87回全国都市問題会議				
イベント会期	2025/10/09 ~ 2025/10/10				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2025/09/16	取消: 2025/10/09 会議参加登録 鈴木 良尚 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	-	¥ 13,000	※2
2025/09/30	取消: 2025/10/09 会議参加登録 藤生 浩二 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	-	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 野田 文雄 様(申込者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 鈴木 良尚 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 0	1	¥ 0	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 吉山 勇 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 新井 智 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 0	1	¥ 0	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 馬庭 充裕 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 新藤 靖 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 長沼 宏泰 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 宮田 芳典 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 0	1	¥ 0	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 山越 清彦 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 大木 光 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 0	1	¥ 0	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 藤生 浩二 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 0	1	¥ 0	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 佐藤 智則 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 椎名 三生 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 飯島 学 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 定方 宏允 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
2025/10/08	2025/10/09 会議参加登録 柳 敦志 様(野田 文雄 様:同時登録者)	¥ 13,000	1	¥ 13,000	※2
① 請求額合計				¥ 169,000	¥ 0
(10%対象)				¥ 0	¥ 0
(8%対象 ※1)				¥ 0	¥ 0
(対象外 ※2)				¥ 169,000	¥ 0
② 入金額				¥ 169,000	
③ 請求残額				¥ 0	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

収入印紙

株式会社JTB 宇都宮支店  
〒320-0801  
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階  
担当者:支店長 鹿野 英克



領収証番号: 325391441000230002  
登録番号: T8010701012863

## 領 収 証

伊勢崎クラブ 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計	¥ 333,190	(税込)
イベント名	第87回全国都市問題会議	
イベント会期	2025/10/09 ~ 2025/10/10	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
(10%対象)	¥ 333,190	¥ 28,600 -
(8%対象)	¥ 314,600	¥ 28,600 -
(対象外)	¥ 0	¥ 0 ※1
	¥ 18,590	¥ 0 ※2
入金額	¥ 333,190	
請求残額	¥ 0	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

## 領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

# 領 収 明 細

領収証発行日:2025/10/16

2 / 3

領収額合計

¥ 333,190

(税込)

## 【内訳】

イベント名	第87回全国都市問題会議 2025/10/09 ~ 2025/10/10					
イベント会期	申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
	2025/08/08	旅行代金(宿泊)取消料 野田 文雄 様	¥ 12,870	-	¥ 12,870	※2
	2025/09/16	旅行代金(宿泊)取消料 野田 文雄 様	¥ 5,720	-	¥ 5,720	※2
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 野田 文雄 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 吉山 勇 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 馬庭 充裕 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 新藤 靖 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 長沼 宏泰 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 山越 清彦 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 野田 文雄 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 吉山 勇 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 馬庭 充裕 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 新藤 靖 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 長沼 宏泰 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
	2025/09/30	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル／一泊朝食付／禁煙) 山越 清彦 様	¥ 14,300	1	¥ 14,300	10%
		小計			¥ 190,190	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

# 領 収 明 級

領収証発行日: 2025/10/16

3 / 3

## 【内訳】

イベント名	第87回全国都市問題会議 2025/10/09 ~ 2025/10/10				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2025/10/08	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 柳 敦志 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 佐藤 智則 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 椎名 三生 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 飯島 学 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/08 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 定方 宏允 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 柳 敦志 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 佐藤 智則 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 椎名 三生 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 飯島 学 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
2025/10/08	2025/10/09 ホテルサンシャイン宇都宮(シングル/一泊朝食付/禁煙) 定方 宏允 様	¥14,300	1	¥14,300	10%
<b>小計</b>				<b>¥143,000</b>	
<b>① 請求額合計</b>				<b>¥333,190</b>	<b>¥28,600</b>
(10%対象)				<b>¥314,600</b>	<b>¥28,600</b>
(8%対象 ※1)				<b>¥0</b>	<b>¥0</b>
(対象外 ※2)				<b>¥18,590</b>	<b>¥0</b>
<b>② 入金額</b>				<b>¥333,190</b>	
<b>③ 請求残額</b>				<b>¥0</b>	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

表 程 旅 御

作成日：令和7年08月25日

群馬県知事登録第3-207号  
株式会社 群馬トラベルエンジニアリング  
群馬県伊勢崎市今泉町1-1210-3  
TEL 0270-23-8555  
FAX 0270-26-3699  
担当者 柳井 正臣

お客様名：伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ

コース名：福島・栃木

旅行期間：令和7年10月08日～令和7年10月10日

共 0 人

卷之三

日次	月 日	行 程	行 程
1	10月08日 (水)	両毛線 伊勢崎 08:55 09:27 09:35	やまびこ554 高崎 大宮 福島 11:12 13:30 15:00
2	10月09日 (木)	宿泊 宇都宮 16:34 ホテル	やまびこ554 大宮 福島市役所 福島 15:51
3	10月10日 (金)	宿泊 宇都宮 13:58	両毛線 やまびこ140 大宮 高崎 伊勢崎 あさま615 14:23 14:29 14:59 15:08 15:36

# 第87回全国都市問題会議 開催のご案内

期日：令和7年10月9日(木)・10日(金)

テーマ：成熟社会の都市のかたち  
～コンパクトで持続可能なまちづくり～

会場：ライトキューブ宇都宮

申込期間：令和7年7月28日(月)～8月8日(金)

(主催)

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日本都市センター

宇 都 宮 市

(協賛)

公益財団法人 全国市長会館

# 開催要領

## 1. 主催者

【主催】全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、宇都宮市

【協賛】(公財)全国市長会館

## 2. 開催日時・会議の内容(日程 4ページ、講師略歴 5、6ページ)

【第1日】令和7年10月 9日(木) 9:30 開会 (受付開始 8:30)  
基調講演、主報告、一般報告

【第2日】令和7年10月10日(金) 9:30 開会 (開場 8:30)  
パネルディスカッション、行政視察(事前申込者のみ・有料)

## 3. 開催場所(会場アクセス 7ページ)

ライトキューブ宇都宮

〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい 1-20 TEL:028-611-5522

## 4. 議題(議題解説 8ページ)

「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」

## 5. 会議参加費

1名につき 13,000円

- ※ 1日目の昼食弁当代、会議配布資料代等を含みます。
- ※ 会議参加費は、事務局に代わり運営業務委託会社である株式会社JTBが代行収受します。
- ※ 9月20日(土)以降に参加を取消された場合は、会議参加費の返金はできません。
- ※ 悪天候や感染症の影響等により、会議の開催を中止又は開催内容を変更する場合があります。また、その場合も、会議参加費を返金できないことがあります。
- ※ 会議参加費の領収証は、会議当日にお一人様1枚ずつお渡します。

## 6. 会議の参加・宿泊のお申込み(参加申込方法 14ページ、宿泊のご案内 21ページ)

下記の期間にWEB申込みにより受付します。14ページの申込方法を確認ください。

【申込開始日】令和7年7月28日(月) 10:00 から

【申込締切日】令和7年8月 8日(金) 17:00 必着

【結果公開日】令和7年8月22日(金) 13:00

- ※ 申込者が定員(1,800名予定)を超えた場合は抽選を行います。  
(抽選対象者:市区議会議員(議長及びその随行者は除く)及び議会事務局職員)
- ※ 随行者についても参加申込みが必要です。
- ※ 庁内LANのセキュリティ等の関係で参加申込専用ページにアクセスできない方に限り、メールでの受付を行います。(回答は5営業日以内にメールにて行います)

## 日 程

第1日 10月9日（木）

9:30	開会式	
9:50	基調講演 京都大学名誉教授	広井良典氏
10:50	主報告 栃木県宇都宮市長	佐藤栄一氏
11:50	(昼食)	
13:10	一般報告 東洋大学国際PPP研究所 シニアリサーチパートナー	南学氏
14:10	(休憩)	
14:30	一般報告 香川県高松市長	大西秀人氏
15:30	一般報告 早稲田大学理工学術院教授	森本章倫氏
16:30	(終了)	

第2日 10月10日（金）

9:30	パネルディスカッション 〔コーディネーター〕	
	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授	内田奈芳美氏
	〔パネリスト〕	
	㈱みちのりHD代表取締役グループCEO (兼)関東自動車㈱代表取締役社長	吉田元氏
	まちなか広場研究所主宰	山下裕子氏
	北海道室蘭市長	青山剛氏
	鳥取県米子市長	伊木隆司氏
11:50	閉会式	
閉会後	行政視察 【事前申込者のみ（有料）】	

# 講 師 略 歷

## 基調講演



ひろい よしのり  
**広井 良典**  
京都大学名誉教授

1961年岡山市生まれ。東京大学教養学部卒業、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学教授、京都大学教授を務める。専攻は公共政策及び科学哲学。『日本の社会保障』でエコノミスト賞、『コミュニティを問い合わせなおす』で大仏次郎論壇賞受賞。他に『ポスト資本主義』『人口減少社会のデザイン』など著書多数。この間、内閣府・幸福度に関する研究会委員、国土審議会専門委員、環境省・次期生多様性国家戦略研究会委員、外務省・国際社会の持続可能性に関する有識者懇談会委員等を務める。

## 主 報 告



さとう えいいち  
**佐藤 栄一**  
栃木県宇都宮市長

1961年宇都宮市生まれ。明治大学法学部法律学科卒業。1986年北関東観光開発株式会社代表取締役就任、1997年社団法人宇都宮青年会議所理事長、2000年社団法人日本青年会議所副会頭。2004年11月宇都宮市長に就任。現在6期目。市長就任以降、持続可能な都市構造であるネットワーク型コンパクトシティ（NCC）の形成と、階層的な公共交通ネットワークの基軸となるLRT（ライトライン）の整備に取り組むとともに、目指すまちの姿として、NCCを土台に「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」や「デジタル」によって発展する「スーパースマートシティ」を掲げ、持続可能なまちづくりを進めている。

## 一般報告



みなみ まさぶ  
**南 學**  
東洋大学国際 PPP 研究所シニアリサーチパートナー

横浜市生まれ。1977年東京大学教育学部を卒業後、横浜市役所に就職。1989年カリフォルニア大学（UCLA）大学院に留学派遣（修士号取得）。帰国後、市立大学事務局、市長室等を歴任し、2000年静岡文化芸術大学文化政策学部助教授。横浜市立大学教授、神奈川大学特任教授を経て東洋大学客員教授から同大学国際 PPP 研究所シニアリサーチパートナー。自治体の経営・マネジメントを研究。著書に『ポストコロナ社会の公共施設マネジメント』（学書房、2021）、『行政経営革命』（ぎょうせい、2003）、月刊『地方財務』誌に、公共施設マネジメント関連の論文を100回以上連載、など多数。



おおにし ひでと  
**大西 秀人**  
香川県高松市長

1959年香川県生まれ。東京大学法学部卒業後、自治省へ入省。その後、北海道地域振興室長、自治省税務局税務企画官、島根県総務部長などを歴任し、2006年総務省情報通信政策局地域放送課長を最後に、総務省を退職。2007年5月から高松市長。現在5期目。全国市長会相談役、全国市長会介護保険対策特別委員会委員長、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会委員、厚生労働省医療介護総合確保促進会議構成員、公益財団法人日本都市センター理事長、公益社団法人国民健康保険中央会会长。



もりもとあきのり  
**森本 章倫**  
早稲田大学理工学術院教授

1964年山口県生まれ。1989年早稲田大学大学院理工学研究科修了。早稲田大学助手、宇都宮大学助手・助教授、マサチューセッツ工科大学（MIT）研究員を経て、2012年宇都宮大学大学院工学研究科教授、2014年から現職である早稲田大学理工学術院教授。専門は、都市計画、交通計画。博士（工学）、技術士（都市及び地方計画）。日本都市計画学会前会長、日本交通政策研究会常務理事のほか、国土交通省「都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会」座長、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会会長など、国や都道府県、区市町などの多くの検討会委員を務める。主な著書に、『图説わかる都市計画』（学芸出版社）、2021（編著）『City and Transportation Planning : An Integrated Approach』（Routledge）、2021（単著）などがある。

## パネルディスカッション

### コーディネーター



うちだなおりみ  
**内田 奈芳美**

埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授

1974年福井県生まれ。2004年ワシントン大学（シアトル）アーバンデザイン＆プランニング修士課程修了。2006年早稲田大学大学院博士課程修了。博士（工学）。金沢工業大学環境・建築学部講師などを経て、現職。アーバンデザインセンター大宮の副センター長。2021～22年、ワシントン大学・ラトガーズ大学客員研究員。主な著書に『ネイバーフッド都市シアトル：リベラルな市民と資本が変えた街』（2025年、学芸出版社）『金沢らしさとは何か』（2015年、北國新聞社、共同編集）、『都市はなぜ魂を失ったか—ジェイコブズ後のニューヨーク論』（2013年、講談社、翻訳）など。

### パネリスト



よしだげん  
**吉田 元**

(株)みちのり HD 代表取締役  
グループCEO(兼)関東自動車(株)  
代表取締役社長

1996年東京三菱銀行（現三菱UFJ銀行）入行。法人営業や新商品開発・経営統合等の各種企画業務に従事。その後、ハイテクベンチャーにて、財務・経営企画・新規事業開発等を統括。2008年2月（株）経営共創基盤（IGPI）参画、製造業を中心に全社戦略・事業戦略の立案、中期経営計画の策定、ステークホルダー対応等の各種経営支援業務のほか、IGPI100%出資により設立された（株）みちのりHDにて公共交通事業会社の経営に従事。2012年4月関東自動車（株）取締役専務執行役員、2016年12月東野交通（株）取締役専務執行役員に就任し、2018年10月両社合併。2021年6月関東自動車（株）代表取締役社長に就任し、2025年1月より現職。

### パネリスト



やましたゆうこ  
**山下 裕子**

まちなか広場研究所主宰

2007年に開業した富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」のスタッフを経て、2014年から“ひと・ネットワーククリエイター”として活動開始。地域の余地を“用がなくても日常的にそこに行こう”と感じられるような機運醸成づくりの際に、地元の伴走者の立ち位置で活動中。2009年（財）地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2011年からNPO法人GPネットワーク理事。2013年から全国まちなか広場研究会理事。2023年から“アートと都市と公共空間研究会”メンバー。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ稼働率100%の公共空間のつくり方』（学芸出版社）、『生きた景観マネジメント』（共著・鹿島出版会）、『コンパクトシティのアーバニズム』（共著・東京大学出版会）。

### パネリスト



あおやまとけい  
**青山 剛**

北海道室蘭市長

1977年生まれ。室蘭工業大学で都市計画を専攻し、2002年同大学院修了。室蘭工業大学助手を経て、2003年室蘭市議会議員に初当選。2011年には室蘭市長に就任し、現在4期目。博士（工学）。「住み続けたいまち室蘭」の実現に向け、持続可能なまちづくりに取り組んでおり、2018年には国土交通省の「地方再生コンパクトシティ」のモデル都市として、室蘭市が北海道で唯一選定される。特徴的な取り組みとして、人口減少が進んでいる室蘭駅周辺地区のハード整備と商店街の魅力向上、回遊性や総合プロデュース力向上等のソフト事業をかけ合わせることで、交流人口の拡大や地区の稼ぐ力の向上につなげ、賑わいの再生を目指している。

### パネリスト



いとたかし  
**伊木 隆司**

鳥取県米子市長

1973年米子市生まれ。1996年に中央大学商学部会計学科卒後、同年、太田昭和監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）に入社。2000年に公認会計士登録し、2002年に伊木公認会計士事務所を開設。2015年米子商工会議所青年部会長。2017年に市長就任後、少子高齢化や、人口減少が進む中、「米子市まちづくりビジョン」を策定。2019年に「ウォーカブル推進都市」となり、2023年に「がいなロード（米子駅南北自由通路）」を整備。まちなかにおける「歩いて楽しいまちづくり」の推進や、市域全体の公共交通の再構築などを通じ、まちなかと郊外の一体的な発展をめざす。現在3期目。全国市長会副会長。

# 会場 アクセス

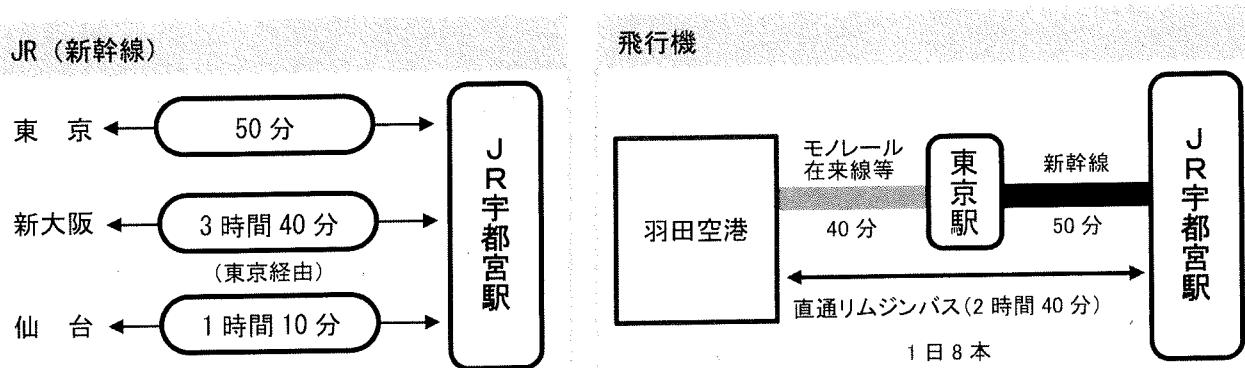
## 【新幹線】

「JR 宇都宮駅」改札口フロアから東西自由通路を経由して、徒歩約 2 分です。

## 【飛行機】

●在来線等と新幹線を利用する場合：「羽田空港」→「JR 宇都宮駅」約 90 分

●直通リムジンバスを利用する場合：「羽田空港」→「JR 宇都宮駅」約 3 時間(1 日 8 本)



## 【JR 宇都宮駅からのアクセス】



## ■乗用車をご利用の場合

ライトキューブ宇都宮には専用の駐車場がございません。できる限り公共の交通機関でのご来場をお願いします。

## ■その他

その他アクセス詳細につきましては、ライトキューブ宇都宮ホームページをご参照ください。

ライトキューブ宇都宮 アクセス



URL: <https://light-cube.jp/visitors/access/>



## 宿泊のご案内

- ・株式会社 J T B 宇都宮支店が企画・実施する募集型企画旅行です。(最少催行人数:1名)
- ・添乗員は同行いたしません。各宿泊施設のチェックイン手続きはお客様ご自身で行っていただきます。
- ・1名1室以外のご宿泊や後泊等を希望の場合は、23ページ記載の問合せ先までメールにてご連絡ください。メールでのお申込みの場合は、必ず第3希望まで選択してご記入ください。

【宿泊日】前泊:令和7年10月8日(水)  
当日泊:令和7年10月9日(木)

【宿泊代金】大人お一人様当たりの1泊分の宿泊代金(諸税・サービス料含む)です。朝食付きの宿泊施設の場合は、朝食代金も含まれています。

- ・朝食付の宿泊施設で朝食が不要な場合でも同じ宿泊代金となります。
- ・禁煙・喫煙のご希望には添えない場合がございますので、予めご了承ください。
- ・個人勘定及びこれに伴うサービス料金と諸税は、各自ご精算をお願いいたします。
- ・駐車場はご自身にて決定ホテルにご連絡いただき、手配・精算をお願いいたします。

【旅程表】

日次			行程	食事	
朝食付	朝食無				
1	-	10/8 (水)	各地………(お客様各自手配)………各宿泊施設	朝: × 昼: × 夕: ×	朝: × 昼: × 夕: ×
2	1	10/9 (木)	各地または各宿泊施設…(お客様各自手配)… …ライトキューブ宇都宮…(お客様各自手配)…各宿泊施設	朝: ○ 昼: × 夕: ×	朝: × 昼: × 夕: ×
3	2	10/10 (金)	各宿泊施設…(お客様各自手配)… …ライトキューブ宇都宮…(お客様各自手配)…各地	朝: ○ 昼: × 夕: ×	朝: × 昼: × 夕: ×

※朝食条件欄が「◆」となっている宿泊施設は朝食が無料サービスとなっている宿泊施設です。

提供される朝食は数に限りがあり、無くなり次第終了となる可能性がありますので、ご了承願います。

※各宿泊施設の部屋数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

※宿泊施設の希望に添えない場合、希望外の宿泊施設をご案内する場合がございます。また宿泊施設リスト以外の宿泊施設をご案内する場合もございます。

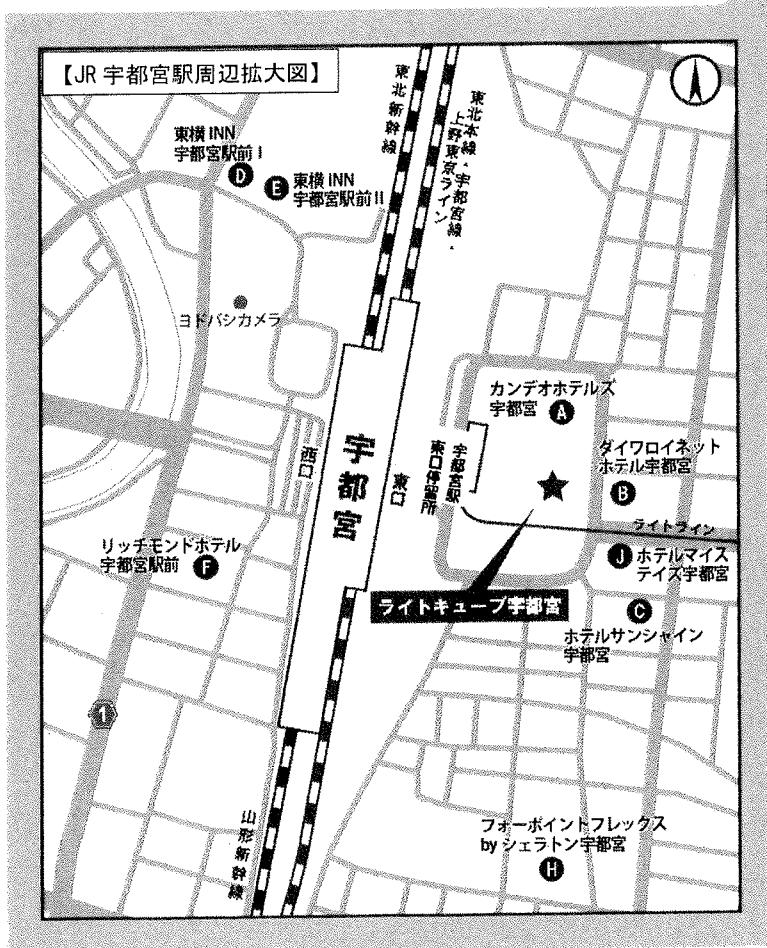
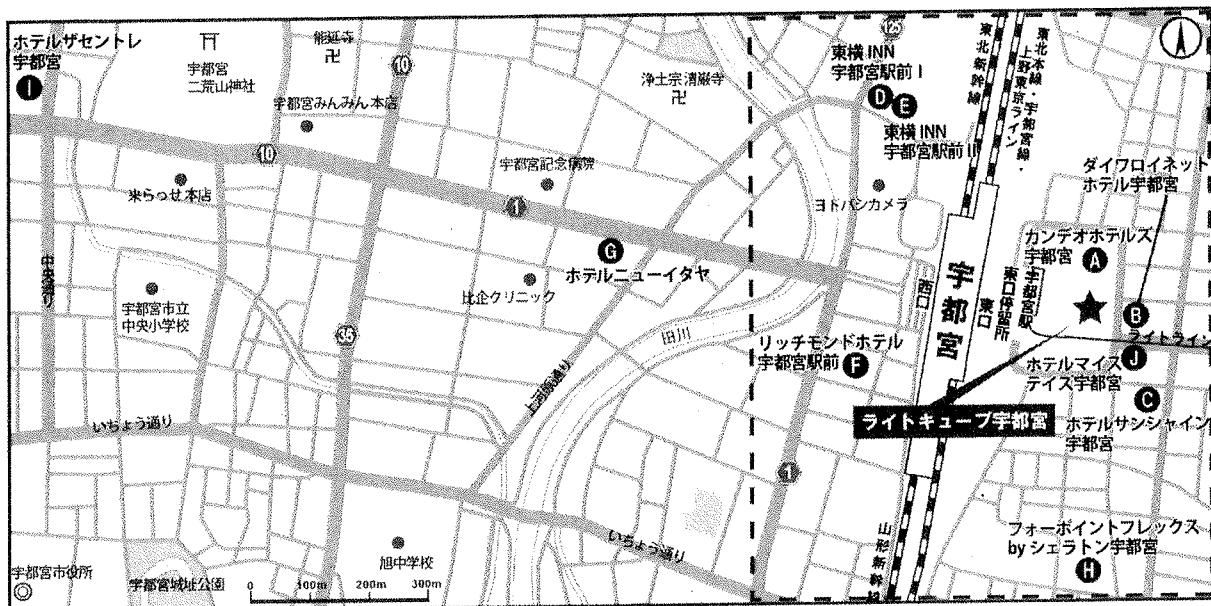
番号	ホテル名	申込記号	部屋タイプ	朝食条件	宿泊代金	会場までのアクセス
A	カンデオホテルズ宇都宮	A-1	ツイン※禁煙	あり	25,200円	徒歩1分
B	ダイワロイネットホテル宇都宮 ※10月8日(水)のみの設定	B-1	シングル※禁煙	あり	18,900円	徒歩3分
		B-2	ツイン※禁煙	あり	26,900円	
C	ホテルサンシャイン宇都宮	C-1	シングル※禁煙	あり	14,300円	徒歩4分
		C-2	ダブル※禁煙	あり	15,500円	
D	東横INN宇都宮駅前I	D-1	シングル※禁煙	◆	10,500円	徒歩9分
		D-2	シングル※喫煙		10,500円	
E	東横INN宇都宮駅前II	E-1	シングル※禁煙	◆	10,500円	徒歩9分
		E-2	シングル※喫煙		10,500円	
F	リッチモンドホテル宇都宮駅前	F-1	シングル※禁煙	あり	15,200円	徒歩8分
		F-2	シングル※喫煙	あり	15,200円	
G	ホテルニューアイタヤ	G-1	シングル※禁煙	あり	12,400円	徒歩12分
		G-2	シングル※喫煙	あり	12,400円	
H	フォーポイントフレックス by シェラトン宇都宮	H-1	シングル※禁煙	◆	13,750円	徒歩9分
		H-2	シングル※喫煙		13,750円	
I	ホテルザセントレ宇都宮	I-1	シングル※禁煙	あり	12,000円	徒歩25分
		I-2	シングル※喫煙	あり	12,000円	
J	ホテルマイステイズ宇都宮	J	シングル※禁煙	あり	22,100円	徒歩3分

■ 取消料：取消発生日により1泊ごとに下記取消料を申し受けます。

契約解除の日		取消料（お一人様）
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	1. 21日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 20日目にあたる日以降の解除（3～6を除く）	旅行代金の20%
	3. 7日目にあたる日以降の解除（4～6を除く）	旅行代金の30%
4. 旅行開始日の前日の解除		旅行代金の40%
5. 当日の解除（6を除く）		旅行代金の50%
6. 旅行開始後の解除または無連絡不参加		旅行代金の100%

※宿泊料金のキャンセル料発生日は、9月18日(木)からとなります。

# 宿泊施設 MAP



A	カンドオホテルズ宇都宮
B	ダイワロイネットホテル宇都宮
C	ホテルサンシャイン宇都宮
D	東横INN宇都宮駅前 I
E	東横INN宇都宮駅前 II
F	リッチモンドホテル宇都宮駅前
G	ホテルニューイタヤ
H	フォーポイントフレックスbyシェラトン宇都宮
I	ホテルザセントレ宇都宮
J	ホテルマイステイズ宇都宮

令和 7 年 11 月 7 日

## 視察等報告書

整理番号 19

会派名	伊勢崎クラブ	報告者氏名	飯島 学
日 時	令和 7 年 10 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金)		
事 項	福島県福島市行政視察及び第 87 回全国都市問題会議 参加		
場 所	福島県福島市 栃木県宇都宮市 (ライトキューブ宇都宮)		
参加者氏名	野田文雄・吉山勇・馬庭充裕・新藤靖・長沼宏泰・山越清彦 佐藤智則・椎名三生・定方宏允・柳敦志・飯島学		
(目的・理由・内容) 別紙のとおり			
(成果・所感) 別紙のとおり			

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。  
なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

1. 福島県福島市行政視察 「災害対策オペレーションシステムについて」  
「災害時における同伴避難所について」

2. 第87回全国都市問題会議

報告者 伊勢崎クラブ 飯島 学

■参加者 野田文雄・吉山勇・馬庭充裕・新藤靖・長沼宏泰・山越清彦・佐藤智則  
椎名三生・定方宏充・柳敦志・飯島学（11名）

■会 派 伊勢崎クラブ

■令和7年10月8日（水曜日）～令和7年10月10日金曜日

■福島県福島市役所・栃木県宇都宮市

■1日目：令和7年10月8日（水曜日）

#### 「福島市行政視察」 報告

福島市災害オペレーションシステムについて、令和元年10月の台風19号を教訓に、避難情報の発令、避難所開設情報の発信、被害状況の把握など初期対応において、もなく対応できるよう強化を図るために導入した経緯であり、FASTARALERT やウェザーニューズや各種SNSを新たに追加導入してきた充実した機能が備えてあり、市民への情報発信に工夫をしていて参考になった。

またペット同伴避難所の開設も、台風19号などの経験から安心してペットと一緒に避難できるペット同伴避難所の設置が求めていたとの事。人とペットの避難に関するワークショップの開催や災害に備えた飼い主のしつけ方教室の開催などを順次開催して、周知や市民の意見を取り入れたペット同伴避難所の取組に、参考になった。

■ 2日目。3日目（令和7年10月9日（木曜日）、10日（金曜日）。

#### 「第87回 全国都市問題会議」 報告

人口減少・成熟時代の都市とまちづくりとのテーマに関しては、若い世代のローカル志向が進んでいるとのことで、内向き批判は的外れとのことで、若者のローカル志向を支援する仕組みの必要性を感じた。地元大学の進学率も44%で、過去50年で最高とのことで、この20年間で増加が大きいのは一位石川県、二位群馬県、三位和歌山県であり、群馬県の若世代のローカル志向の高いことが分かった。

今後は、都市集中型から地方分散型に必要な施策を実行すべきである。

資源生産性への転換を促す環境課税や、地域経済を促す再生エネルギーの活用、まちづくりのための地域公共交通機関の充実、地域コミュニティを支える文化の伝承、地域社会の資産形成を促す社会保障などの施策が有効であるとの提案があった。

持続可能な社会のモデルを先導的に実現し、発信していくことが本市にも重要であると感じた。

視察報告 野田 文雄

視察日 令和7年10月8日

視察先 福島市

ペット同伴避難所

ペット同伴避難所の取組を視察し、災害時における人と動物の共生避難の重要性を改めて実感しました。

令和3年当時は指定避難所39箇所ありペット同行避難を可能としていたが、ペットの避難場所は駐輪場や軒下で、家族の一員としてペットと暮らしている飼い主にとって安心できる状況でないことから、ペットを飼う市民が安心して避難できるよう、マニュアルの整備やボランティア団体との連携が進められており、実際の運用体制がしっかりと構築されていることに感銘を受けました。

また、避難スペースの分離や衛生管理など、現場での工夫も随所にみられ、人とペット双方が安全に過ごせる環境づくりへの配慮が感じられました。

伊勢崎市においても、こうした先進事例を参考に、災害時におけるペット同伴避難の具体的な体制づくりを検討していくことが重要であると考えます。

第87回全国市問題会議に参加して

令和7年10月8・9日

今回のテーマは「持続可能なまちづくり」でしたが、全国の自治体が人口減少や地域経済の停滞など、共通の課題にどのように取り組んでいるかを学ぶことができました。

特に印象的だったのは、地域住民・企業・行政が一体となり、地域資源を活かした街づくりを進めている事例です。

行政が主導するだけでなく、市民が主体的に関わることが、まちの元気につながっていることを改めて感じました。

また、デジタル化や人材育成といった視点から、これから地域運営に必要な新しい仕組みづくりについて多くの示唆を得ることができました。

今回の会議で得た知見を、伊勢崎市の将来に見据えた政策提案や議会活動にしっかりと活かし、安心して暮らせる持続可能なまちづくりに努めています。

## 伊勢崎クラブ会派視察レポート

吉山 勇

### ○ 10月8日（水） 福島市 『ペット同伴避難所』について

福島市では、災害時にペットと飼い主が共に避難できる「ペット同伴避難所」の整備を進めている。これは、東日本大震災やその後の災害対応の教訓を踏まえ、ペットの同行避難を原則とする国の方針に基づくものである。福島市では、避難所の一部を区画分けし、飼い主とペットが安心して過ごせるよう、専用のスペース・給水設備・消臭マット等を備えている。また、動物愛護センターや獣医師会と連携し、避難所運営マニュアルや訓練を実施していることも特徴である。ペットの存在は家族の一員として心の支えとなる一方、衛生管理や鳴き声への配慮も必要である。行政・地域・飼い主が協働し、共に命を守る仕組みづくりが今後さらに重要となる。

今後の課題として、避難スペースや設備の不足に加え、動物アレルギーや鳴き声などへの住民理解をどう広げるかが挙げられる。また、飼い主のしつけや備蓄管理など、個々の責任意識の向上も欠かせない。行政だけでなく、地域住民・ボランティア・獣医師などが平時から協力体制を築くことが、共生型避難の実現に向けた調整が鍵となるのではないか。と感じた。

### ○ 10月8日（水） 福島市 『災害対策オペレーションシステム』について

福島市の災害対策オペレーションシステムは、災害発生時の情報共有と意思決定を迅速化するためのデジタル基盤である。市の災害対策本部と各部局、消防、警察、自衛隊などの関係機関をオンラインで結び、被害状況や避難所の開設状況、物資の在庫、職員の配置などをリアルタイムで共有できる仕組みとなっている。これにより、従来の紙ベースの報告や電話連絡に比べ、情報伝達の遅れや重複が大幅に減少した。また、地図上で被災エリアや道路の通行止め情報を一目で把握でき、現場対応の優先順位付けも容易となっている。市民の安全を守るために科学的・効率的な指令系統として、今後は他自治体との広域連携やAI活用による進化も期待される。

今後の課題としては、デジタル機器や通信環境に不慣れな職員への教育と訓練の充実が必要である。また、システム障害時のバックアップ体制や停電時の運用方法など、BCPの実効性を高める検証も重要となる。さらに、他自治体・民間との情報連携をどこまで拡張するかという制度設計など、よりシステムを有効に活用出来る点を伸ばしていくことではないか。と感じた。

○ 10月9日（木）～10日（金） 第87回 全国都市問題会議 宇都宮市

栃木県宇都宮市で開催された第87回全国都市問題会議は、「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」をテーマに開かれた。全国から自治体関係者が集い、人口減少社会における都市の再構築を中心議題として、活発な意見交換が行われた。基調講演では、京都大学名誉教授・広井良典氏が「一極集中から多極分散へ」を提唱し、地域資源を活かした自立型の都市構造の重要性を説いた。宇都宮市からは、次世代型路面電車「ライトライイン」を軸にしたネットワーク型コンパクトシティの形成が主報告として紹介され、沿線での人口増加や商業活性化など、LRT導入による具体的成果が示された。また、公共施設マネジメントや自動運転技術を活用した交通再編、都市の「縮充」政策（縮小と充実の両立）、さらには住民合意形成の在り方など、各自治体共通の課題と挑戦が共有された。持続可能な都市運営のためには、インフラ更新や地域交通の再設計に加え、市民参加を前提とした総合的な都市ビジョンの構築が求められることを再認識する機会となった。

今後の課題としては、地方都市における公共交通網の維持と財源確保、さらには市街地の再集約を進める際の住民合意形成が挙げられる。また、コンパクトシティの推進は単なる都市縮小ではなく、福祉・教育・防災など生活機能の再配置を伴う「質の高いまちづくり」として進める必要がある。行政のリーダーシップと市民協働の仕組みづくりが今後の鍵となる。と感じた。

伊勢崎市では、『あおぞら』巡回バスがあるが、宇都宮市のLRTのルートとその他を補完する路線バスの事例を見て、現状の路線をゼロベースから見直し、縦横ラインの路線を検討すべきではないかと思った。行きたいところへロスなく行けるようになるのではないか。と考える。

## 視察報告 馬庭 充裕

福島市において、災害時の DX とペット避難所について学びました。

災害時には様々な情報の入出力が必要であり、電子システムの有用性を認識出来ましたが、想定した訓練が何よりも重要と実感しました。

ペット避難所は愛好家にとって家族であるペットも同時に避難できる先進的な取組ですが、福島市においても訓練参加数は極めて少なく、慎重に検討する必要があると感じました。

全国都市問題会議では、コンパクトシティを題目に講演やディスカッションが行われましたが、

最大の収穫は、南学先生のこれから公共施設統廃合の考え方として、縮充をキーワードに具体例を示したことを市長と会派の皆さんと共有出来た事です。

難しい課題ではありますが、解決のひと筋の光が見えたものと思います。

視察報告 新藤靖

10月8日（水）

福島県福島市

・災害対策オペレーションシステムについて

被害状況の把握、避難情報発令に特に力を入れ気象情報収集や情報発信、SNS を活用した情報発信を積極的に行っていった。

リアルタイムの情報を流し、迅速、正確、もなく対応できるよう強化を図るために導入しており大変勉強になった。

・災害時におけるペット同伴避難所について

福島市 犬の登録数 11,874 頭、予防接種済み 8,910 頭

臨機応変に対応できている避難所であり、設備等も充実していた。

また、市職員に対し避難所運営する際に動物が苦手な人や好きな人と事前に調査をしていた。

動物愛護ボランティアとの連携、福島県獣医師会との協定も締結しており避難所を運営する際も安心だと感じた。

これまでにペット避難所を利用された方は 2 組のみ、ほとんどの方が自車による車中泊になっている。

本市もペット避難所はあるが、どれほどの機能や整備があるのか確認する必要があると感じた。

10月9日（木）・10日（金）

第87回全国都市問題会議 in 宇都宮

成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～

成長型から成熟型への社会変化は、人口減少が進む中でさまざまな各分野で様々な変化が生じると感じた。一般報告の中でもあったが、「減少」「削減」ではなく質から量、集中化から分散化、個別化から連携化等成熟社会における持続可能な都市のかたちは、これまで以上に複雑多様化していくと感じた。それらを踏まえ、本市も成熟社会における都市のあり方をしっかりと見つめ直し検討していくことが重要だと感じた。

視察報告 長沼宏泰

福島市の災害対策オペレーションシステムやペット同伴避難所は、本市の水害時に応用出来ると思うが、人的対応や情報の見える化の実現に、多大なスキルアップが必要。

宇都宮、都市問題会議は、成熟社会の移動手段、居住誘導地域の決定を本市も今から考え直す必要を強く感じた。

視察報告 山越 清彦

#### 福島市

災害対策オペレーションシステムおよびペット同伴避難所の取組を視察した。システムはGIS や水位予測データを活用し、災害時の情報共有と避難判断を支援する先進的な仕組みであった。運用訓練も定期的に実施し、実効性を高めている点が印象的であった。ペット同伴避難所では、飼い主責任と衛生管理を徹底し、動物愛護団体や獣医師会との連携も進めていた。これらの取組は、伊勢崎市の防災・共生体制の充実に大いに参考となる。

#### 第 87 回全国都市問題会議（宇都宮市）

「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」をテーマに講演及び意見交換が行われた。広井良典教授は、人口減少・超高齢社会の到来を前提とした都市構造の再編と「歩いて暮らせるコンパクトシティ」の重要性を強調し、商店街など中心市街地をコミュニティ空間として再生させることが、都市の活力維持につながると説いた。佐藤栄一宇都宮市長からは、LRT 導入を核とした公共交通ネットワークの再構築と、市民の移動・交流を促すまちづくりの実践が紹介された。これらの取組は、伊勢崎市における中心部の回遊性向上やスマート IC 周辺の拠点形成を進める上で、非常に示唆に富むものであった。今後、持続可能で魅力ある都市像の実現に向けた政策検討の一助としたい。

## 福島市行政視察 感想

- ・災害対策オペレーションシステムについて
- ・災害時におけるペット同伴避難所について

佐藤 智則

災害対策オペレーションシステムでは、即時収集できる情報量も多く（雨量や河川水位、水位予測データなど）、SNS やメールなどを含めた一斉情報発信の仕組みなど先進的な取組と感じました。また、アジア航測社製災害システム「アランディス」を独自カスタマイズされており、より地域の状況に合ったシステムとしているところも、災害情報の把握から正確かつ迅速な対応へ繋げることを可能にしていると思います。近年の突然の災害を考えるとこのような先進的なシステム導入も視野に、様々な対応を検討していく必要性を感じました。また、ペット同伴避難所については、動物愛護ボランティアとの連携、獣医師会との協定などにより専門スタッフの確保も重要であり、衛生管理（ワクチン接種や病歴等含め）なども大切であると改めて感じました。また、ルールやマナーという面でも、飼い主の責任も発生し、周りへの配慮も欠くことができません。現状では、避難実績が少ないため、トラブル例はないとのことでしたが、実際の受け入れできる数も制限があり、さらに犬猫以外ほかの動物などの可能性もあり、様々な検討が今後も必要と思われました。ペットは家族であるという考え方が普通になっている昨今において、どのように避難ができるようにするか、様々な角度から考えていきたいと思います。

## 第 87 回全国都市問題会議

### 成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～ 「参加しての感想」

佐藤 智則

近年、人口減少社会に向かって進んでしまっている現状から、それに対応する都市をデザインしていく、また構造改革が必要とされています。今回の都市問題会議での報告を聞く中で、改めて公共交通については、群馬県としても、伊勢崎市としても、マイカー中心社会であるため、課題が沢山あると痛感させられました。まずは、身近な地域共生社会から地域経済循環社会への流れを作り、同時に脱炭素社会への対応、その先に将来を見据えた、「スーパースマートシティ」に向けた取組が必要不可欠であると感じています。この下支えとして、次世代育成・少子化対策の強化による「人」づくりの取組と「デジタル」技術の活用との話があり、非常に共感を持ちました。

伊勢崎市においても、まずはネットワーク型コンパクトシティへの方向付けとして、地域特性を踏まえた各種の都市機能を集積する拠点化と、交通ネットワークにより拠点をつなぎ合わせる拠点ネットワーク化に取り組む必要性があると感じています。

宇都宮 LRT（路面電車の進化版）は沢山の方が日常の足として活用し、とても良いと感じました。ですが、なかなか導入するには費用面ほか様々な難しさもあります。BRT（バス高速輸送システム）などの方が導入のしやすさもあるかと思いました。デマンド交通等とも合わせて地域事情に合わせた交通システムを考え、検討していきたいと思います。

椎名三生 観察報告

福島市の行政観察研修を10月8日（水）に実施しました。災害対策オペレーションシステムについては、過去の教訓をもとに初期対応について学びました。迅速、正確、もれなく対応できるよう強化を図るため導入したことです。災害時におけるペット同伴避難所については、市民からの要望があり「ペット同行避難」を可能にするため避難時開設となつたとのことでした。以上のような説明がありました。伊勢崎市においても参考となる事案であるため今後、調査研究して行きたいと思います。

第87回全国都市問題会議が10月9日（木）から10日（金）までライトキューブ宇都宮にて開催されました。成熟社会の都市のかたち（コンパクトで持続可能なまちづくり）をテーマに行われました。伊勢崎市においても駅前再開発や新図書館建設などにとても参考となるものがありました。今後の市政に生かしてまいりたいと思います。

## 第87回全国都市問題会議

成熟社会の都市のかたち

～コンパクトで持続可能なまちづくり～

視察研修日：令和7年10月9～10日

場 所：ライトキューブ宇都宮

氏 名：定 方 宏 允

「成熟社会の都市のかたち」という今回のテーマは、これからの中・地域が直面する現実（人口減少・高齢化・環境変化）に真正面から向き合ったものであり、拡大を前提としない、持続可能で「暮らしやすい」都市をめざすという視点が非常に印象的でした。近年、少子高齢化・人口減少といった課題が全国の都市で共通しており、「成長を前提とした都市政策」から「成熟社会を前提とした都市政策」へと視点を転換する必要性が強く示されていました。

論点としては、「人口がピークを過ぎた」社会では、無限に拡大を目指すのではなく、都市機能をどのように維持し、地域の暮らしの質を保つかという点に立つことが求められるということです。

また、宇都宮市がこのテーマを具体的に「交通ネットワーク」・「再生可能エネルギー」・「地域コミュニティ」という切り口で先行実践している姿勢から、多くの学びが得られました。

この会議で得た学びを、自分の暮らす地域・自分の生活・自分の関わり方にどう活かしていくかが、次のステップだと考えます。

取り組みをより発展させるために必要な視点に着目して、これから議論を前に進めて参ります。

### 【視察研修日：令和7年10月8日：福島県福島市】

福島市での「ペット同伴避難所」は、ペットを飼っている家庭が災害時に避難をためらわずにすむため、非常に意義ある取組みだと感じました。

実際にテント・ケージ・訓練といった具体的な備えが見える形で整っており、行政の「動物にもやさしいまちづくり」という方針も実際に反映されていると考えます。

ただし、規模・対象・備品・飼い主の事前準備・周知といった「運用面」の準備も同時に進めておかないと、いざという時に利用希望者が多かった際に、混乱や受け入れ制約が出る可能性があります。

特にペットを飼っている世帯としては、自分自身でも「備え」をしておくこと（ケージ、避難袋、ペットの健康チェック、リード、ハーネス、常備薬、ペットの登録・予防接種履歴など）が大切だと改めて思いました。

## 視察報告 柳 敦志

### 福島市感想

福島市による災害時におけるペット同伴避難所の取り組みは、市民とペット双方に寄り添う先進的なモデルだと感じました。特に、福島県獣医師会との協定締結や、市動物愛護ボランティアの設置といった専門機関・人材との連携体制は非常に心強いです。災害を経験した地域だからこそ、飼い主が安心して避難できるよう、「同伴」で過ごせる空間を用意し、しつけや衛生面の指導を徹底している点は重要です。市民を巻き込んだ訓練の定期的な実施は、地域全体の防災意識を高め、災害時の混乱を最小限に抑える上で不可欠です。今後は、避難所の存在と利用条件のさらなる周知が課題ですが、他自治体が参考にすべき具体的な取り組みが多く含まれていると感じました。

### 第87回全国都市問題会議 感想

今年の全国都市問題会議は、宇都宮市で「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」をテーマに開催されました。人口減少・超高齢化が進行する中で、従来の拡大志向のまちづくりを見直し、都市の構造を「コンパクト」へと転換する喫緊の必要性を感じました。特に、開催地・宇都宮市のLRT（ライトライン）を軸とした「ネットワーク型コンパクトシティ」の具体的な事例は示唆に富んでいました。単に施設を集約するだけでなく、高齢者や若者にとって移動しやすく、交流が生まれる「居場所づくり」の視点が重要だと改めて認識しました。未来を担う世代のために、今こそ痛みを伴う構造改革を行い、自治体間での知見共有を進めることが、持続可能な社会を実現する鍵となるでしょう。議論を通じて、都市の未来に対する危機感と、具体的な希望の両方を得ることができました。

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

22

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	飯島 學
支出年月日	令和 7 年 / 0 月 30 日 (第 3 四半期)	支出額	4,200 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 ④. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	
備考	全国農業新聞購読料 (R7.10月～R8.3月分)		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 領 収 証

伊勢崎クラブ 飯島 學 様

金 4,200 円 也

但し、全国農業新聞購読料  
(R7. 10月～R8. 3月分) として

上記金額を領収いたしました。

令和 7 年 / 0 月 30 日

伊勢崎市農業委員会

会長 重田 博之

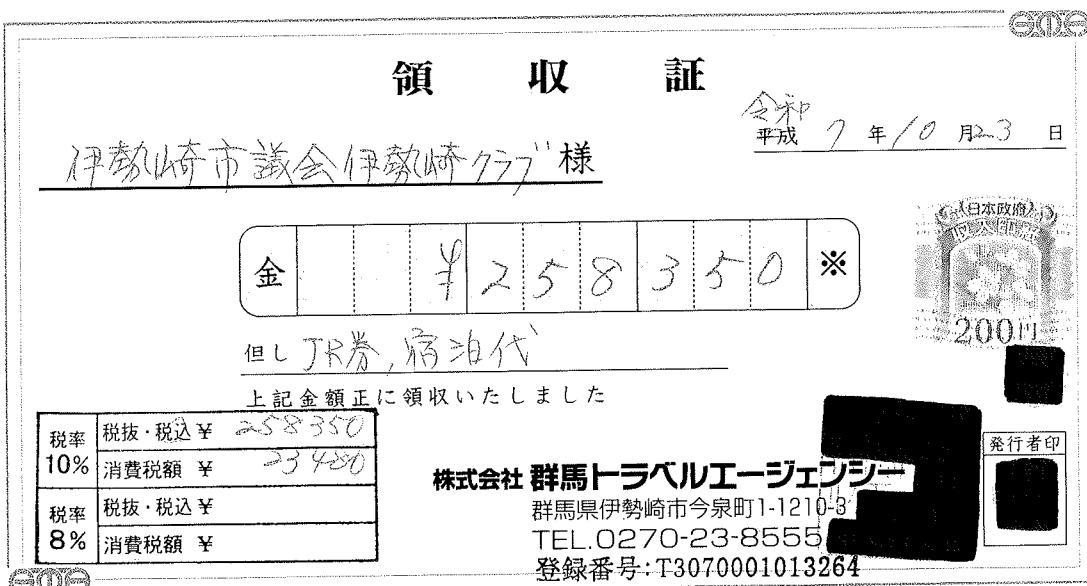
# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

23

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 / 10 月 31 日 (第 3 四半期)	支 出 額	263,400 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	和歌山県海南市「海南nobinos」視察研修 (10/30~10/31)		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



## 政務活動費領收書等貼付用紙（統紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 23

## 請求書

令和  
平成 7年10月23日

伊勢崎市議会 伊勢崎市長様

ご旅行費用を下記の通り請求申し上げます

1. 旅行期間 2025-10-30～10-31

## 2. 行先 和歌山

3 参加人员 5名样

合計￥ 258350-

登錄番号:T3070001013264

〒371-0001 群馬県高崎市大字中野1500 GME(株)群馬トラベルエージェンシー

〒372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町1丁目121043

TEL 0270 (23) 8555 (代表)

FAX 0270 (26) 3 699

担当者

お手数ですが 月 日までに下記口座宛  
お振込いただきますようお願い申し上げます

合 計 258350

## 取引銀行

## 普通預金

口座名

(株)群馬トラベルエージェンシー

税率 10%	税抜・税込￥ <input type="text" value="250000"/> 消費税額 ￥ <input type="text" value="25000"/>
税率 8%	税抜・税込￥ <input type="text" value="200000"/> 消費税額 ￥ <input type="text" value="16000"/>

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 23



伊勢崎市本町2-8  
電話: 0270-25-1127

2025-10-29 10:25  
000003

和菓子	¥2,650
内税対象計	¥2,650
内税	8.0%
現金	¥2,650

**駐車券 ↑**  
**D-Parking**  
 土地活用は大和ハウスグループへ  
**早稲田の杜1丁目第1**  
 大和ハウスパーキング株式会社  
 全て消費税10%適用対象  
 登録番号 T8290001020894

25-10-30 1-0002  
 06:05  
 精算 10-31 16:46  
 駐車時間 1日10時間41分  
 駐車料金 2,400円  
 割引 0円  
 今更又書  
 前払 0円  
 現金 2,400円  
 銭 0円  
 NO. 033313

2025年10月29日

領 収 書 様

一連No0000003  
領収No002745

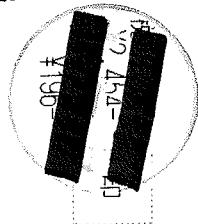
伊勢崎市本町2-8  
¥2,650-

(但し)

として  
正に領収致しました)

伊勢崎市本町2-8  
電話: 0270-25-1127

赤石屋  
印刷面を内側に折って保管願います  
登録番号 T7810031988536



令和 7 年 11 月 12 日

## 視察等報告書

整理番号 23

会派名	伊勢崎クラブ	報告者氏名	柳 敦志
日 時	令和 7 年 10 月 30 日 (木) ~ 31 日 (金)		
事 項	和歌山県海南市行政視察		
場 所	和歌山県海南市		
参加者氏名	野田文雄・新藤靖・長沼宏泰・佐藤智則・柳敦志		
(目的・理由・内容) 別紙のとおり			
(成果・所感) 別紙のとおり			

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。  
なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

## 1. 視察目的

老朽化した市庁舎移転後の中心市街地の活性化と賑わい創出を目的として整備された複合施設「海南 nobinos」について、以下の点を調査し、今後の地域活性化施策への知見を得ることを目的とする。

1. 事業の背景とコンセプト： 旧市庁舎跡地活用の経緯と、複合施設としての機能の在り方。
2. 賑わい創出の具体的な仕掛け： 従来の図書館機能を超えた集客・交流のための工夫（デザイン、広場、サービス）。
3. 子育て支援・市民交流機能の具体例： ターゲット層の利用促進に向けた取り組み。

## 2. 海南 nobinos（ノビノス） 事業概要

### ・施設名・所在地

項目	詳細
施設名称	海南 nobinos（ノビノス）
所在地	和歌山県海南市日方1525-6
開館時期	2020年6月
敷地	旧海南市庁舎および児童図書館跡地

### ・設立目的と背景

中心市街地の活性化と賑わい創出を最大の目的とし、少子高齢化への対応として子育て支援・市民交流機能を強化するために整備された複合公共施設。従来の図書館機能を超え、市民が日常的に集い、交流し、活動できる「居場所」の創出を目指す。

### ・主要機能

図書館機能を核とし、以下の3つの主要な機能を複合的に有する。

- ・図書館機能：世代別のニーズに対応した蔵書構成（特に子育て世代を意識した絵本・雑誌など）と、居心地の良い閲覧スペースの提供。
  - ・市民活動・生涯学習活動支援機能：市民の学習、交流、活動のための多目的スペースや環境の提供。
  - ・子育て支援機能：子どもと保護者を主要ターゲットとした、安心して利用できる空間とサービスの提供。
- ・賑わいを創出する主な特徴
- ・色彩計画：海南市の文化・歴史にちなんだ「海南の伝統色」17色に基づき、施設全体で統一感のある魅力的なデザインを展開。
  - ・利便性の高い環境：快適な公衆 Wi-Fi 環境を整備し、図書館利用者以外の多様なニーズにも対応。

### 3. 取組

機能の複合化に関しては、図書館機能を中心としながら、「市民活動・生涯学習活動支援機能」と「子育て支援機能」を複合化し、多世代が利用できる交流拠点を形成しています。施設のターゲットに関しては、子どもと子育て中の保護者を主要ターゲットとし、2階ライブラリーでは絵本や雑誌を中心とするなど、利用者のニーズに合わせた蔵書構成と空間設計を行っています。また、広場のデザインでは旧市庁舎跡地の高低差を活かし、デザイナーが設計した「蟻の巣」「鳥の巣」をモチーフにしたオリジナル遊具を芝生広場に設置。これが子どもたちの強い関心を引き、施設全体の集客ツックとして機能しています。

### 4. 感想

nobinos の最大の魅力は、その建築と外部空間が一体となって発する圧倒的な魅力です。従来の公共施設にありがちな堅苦しさや画一性がなく、「海南の伝統色」をまとったカラフルな空間は、訪れる人々に親しみやすさと高揚感を与えます。また、施設が、図書館機能だけでなく、市民活動支援と子育て支援を明確に複合化している点も注目すべきです。少子高齢化が進む地域において、子

どもと親を主要ターゲットとして、新しい住民層を取り込み、市民間の交流を促す「居場所」の創出に成功しています。図書館を核としつつも、快適なWi-Fi環境やカフェなどを備えることで、従来の「静寂を保つ場所」から「活動と交流を促す場所」へと、その公共的な役割を大きく転換させたと考えられます。本市も独創的なデザインと色彩計画への投資は、単なる美観向上ではなく、地域活性化と集客力向上のための必須コストであるという認識を持つべきと感じました。本市においても施設を整備する際は、市民の多岐にわたるニーズに応える複合的な機能を持たせ、相乗効果を追求することが重要です。

### 野田文雄

この施設は、市役所の老朽化と津波の浸水区域内に所在しているところから、その跡地を活用して整備されたもので、市民が集い、にぎわう交流拠点の創出を基本理念として建設されています。

整備方針としては、世代や性別を問わず、誰もが利用できる施設であることを重視し、さらに、一人でもみんなでも利用価値を見出せる施設、そして長時間にわたり滞在できる施設という明確な目標が掲げられていました。

これにより、市民一人ひとりがそれぞれの過ごし方を見つけられるような柔軟で居心地の良い空間が実現されていました。

館内は、図書館機能を中心に、市民活動や生涯学習を支援するスペース、子育て支援機能、飲食コーナー、屋外広場など多様な機能を一体的に備えていました。

特に印象的だったのは、子どもと子育て中の世代を主要ターゲットとして設計されている点で、絵本や児童書コーナーの充実はもちろん、遊びながら学べる仕掛けが随所に工夫されていました。

また、保護者が安心して過ごせる環境づくりにも配慮されており、子どもを中心に世代を超えた交流が自然に生まれていました。

こうした施設の運営には、市民の主体的な参加が欠かせず、海南市では市民団体やボランティアの協力を得ながら、地域に根ざした活動が展開されていまし

た。行政と市民が協働で賑わいを育てていくという姿勢が随所に感じられ、非常に印象的でした。

今回の視察を通じて、公共施設を単なる箱ものとしてではなく、地域の人々が交流し、学び合い、支え合う場として育てていくことの重要性を改めて感じました。また、少子高齢化が進む中で、子育て世代が地域に愛着を持ち、世代間の交流が自然に生まれる仕組みは、これからの中まちづくりにおいて欠かせない要素だと思います。伊勢崎市においても、図書館や公民館などの公共施設を学び・交流・子育ての三つの視点から再構築し、市民が集い、つながり、元気になるような場所づくりに取り組むことが求められています。今回のノビノスでの学びを、今後の地域づくりや施設整備のあり方を考えるうえでの貴重なヒントとして、生かしていきたいと感じました。

## 新藤靖

開館6年目（令和2年6月1日）

敷地面積 9,868.72m<sup>2</sup> 建設面積 3,579.46m<sup>2</sup>

延床面積 7,850.23m<sup>2</sup> (1階駐車場含む) 4階建て

2階 閲覧室（絵本、図鑑、雑誌）

3階 閲覧室（児童書）

4階 閲覧室（一般書）書庫兼作業スペース

最大蔵書冊数 15万冊（絵本5万冊、児童書3万冊、一般書7万冊）

※2. 3階はおしゃべりしても良い 子どもの遊び場として活用し、4階部分はオーソドックスな図書館。到着前に図書館内に設置されているスターバックスでお茶をしたが（13時30分頃）打合せをする方や珈琲を楽しむ方、食事をする方など30名位がいた。また、次々に買い物に来る方がいた。スターバックスは指定管理対象外。

年間120万から130万程度の賃料とし、安い。

図書館内も本に興味を持つてもらうための工夫がなされていた。直線ではなく曲線にどこから見ても本を確認できるようになっていた。また、空間活用がとても上手であった。あえて狭い空間を作り集中して読書ができるよう工夫していた。

開館時間も9時から21時30分とし多くの方が利用できる時間帯に設定されていた。

15時30分過ぎになると子供たちの姿が多く見受けられた。椅子に座り会話を楽しむ学生も多くいた。「とにかく施設を利用してもらわないと意味がない」と先方が言っていたのがわかる気がする。貸館の利用料金も安い。稼働率65%納得。

本の貸し出しについては伸び悩んでいる様子だが、来館者は年々増加傾向。

指定管理者である（株）図書館流通センターの方は、多くの方に足を運んでもらうことが大切と言っていた。

海南ノビノスに入館したときの第一印象はやわらかいやさしいイメージ、足を運んでみようと思わせる雰囲気であった。本を借りに行こうではなく、ちょっと時間ができたから行ってみようかな、本でも見てみようかなと言う雰囲気を感じた。特に2・3階。4階は静かな空間となっていた。

そして、館内の壁には張り紙がなくスマートなつくりとなっていた。

どの層をターゲットにしたいのかが明確化され、空間の活用がとても上手な図書館と感じた。

駐車場は1回部分にあり100台程度、2時間までは無料としていた。

## 長沼宏泰

市民が集い、にぎわう交流拠点の創出のコンセプトで創られた図書館。本市計画中の新図書館は、中央図書館の機能が必須と思われ、ここ迄割り切った施設にできるか？

だが、赤堀、東、境の図書館整備の時、図書館らしく無い、集客優先の考えは、参考になる。

## 佐藤智則

海南nobinos、人口約4万5千人の都市に作られた図書館機能を持った複合施設において、年間60万人の来訪者があるとのことで、実際の利用状況を見せていただきました。

非常にうまく使い分けをしており、1階は駐車場・駐輪場・保護者待機室・音楽練習室、24時間図書返却用ポストもあり、スムーズに施設に入れるように工夫されています。2階にはスターバックスがあり、交流ができる部分に加え、多目的室、ホール、ギャラリー、託児室、さらに図書館機能としての「えほんのライブラリー」（5万冊、日本一）に「マガジンライブラリー」と備え、ノビノスパークという乳幼児の遊べるスペースもあり、子どもたちの自由に触れ合える空間が作られていました。当然おしゃべりも自由で気軽に過ごせるスペースとされています。そして、3階では「子どものライブラリー」として、児童書類が置かれ、「読書のもり」「秘密基地」など、こちらにも自由に子どもたちが遊びながら本に触れるができる空間となっていました（おしゃべりも可）。一方で4階では従来の図書館のように学習席や閲覧ラウンジがあり、通常の図書館のような静けさのある落ち着いた雰囲気の場所もありました。各階が様々なニーズに合わせた仕様となっており、4階では静かに読書や勉強をされている方が多く、見学中にも夕方になるにつれて、2・3階には子供達の数が増え、ワイワイ楽しんでいる姿が見られ、平日にもかかわらず、人の出入りは多いと感じました。また、様々な色を取り入れ（市の伝統色）カラー分けなどがあり、市のイメージにも一躍買っているようにも思われます。外には広場・遊具もあり、子どもたちの集まる場所となっているようで、楽しむ子どもたちの声が聞こえる環境となっており、万が一の津波の際にも避難所としての機能を持つ一面もあります。

伊勢崎市が検討している図書館においても複合施設が検討されていますが、ほぼ同じ敷地面積であり、基本理念「市民が集い、にぎわう交流拠点の創出」もほぼ同じような理念であることから、利用促進のためにも自由に集え楽しめるような工夫された空間を創り出すことが必須と感じました。駐車場も100台施設に用意されています。駐車場も2時間以降は料金発生するなど時間制限があることから入れ替えもスムーズとのこと（若干の待ちで入れる）。土日はほぼい

っぱいになるとお話しで、待てない人や近所迷惑を考えると近隣に時間貸駐車場があり、そのようなことも大切な配慮かもしないと感じました。事業手法もノウハウを持つ民間事業者の提案を募集からスタートし、民間事業者と基本計画の策定を行うなど、民間としっかりととしたタッグを組んで、目的に向かつたところも評価すべきところと思います。また、従来の図書館という枠からも外れるような部分についても相当の意見の衝突もあったようでしたが、当初コンセプトを曲げずにしっかりと芯を通した施設であると感じました。従来の図書館という枠から脱した、伊勢崎らしさ（銘仙や子育て公園の充実したまちのイメージ、からつ風、バンドの音楽、美術など）のような特色を持たせた施設として、人の集まりを重視したものであることが必要不可欠であり、様々な視点から考えていいければと思います。

令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

25

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 11 月 4 日 (第 3 四半期)	支出額	446,061 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	伊勢崎クラブニュース市政報告会印刷代及び新聞折込代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

∞ 領 収 証 ∞		No 003079		
<u>伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ様</u>		7 年 11 月 4 日		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">金額</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">半 千 半 6 0 6 1</td> </tr> </table>		金額	半 千 半 6 0 6 1	  <span style="font-size: small;">丁目 267番地 050-0910-1-3508</span> <b>第一印刷株式会社</b> <span style="font-size: small;">代表取締役 田中政喜</span> <span style="font-size: small;">〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町1344</span> <span style="font-size: small;">TEL 0270-25-0919(代) FAX 0270-23-1290</span>
金額	半 千 半 6 0 6 1			
内訳	税抜金額 <u>446,510</u> 消費税額等 (10%) <u>40,551</u>			

書求請

〒372-8501  
伊勢崎市今泉町2丁目410

御中 伊勢崎クラブ  
伊勢崎市議会 (00001784)

372-0817 群馬県伊勢崎市連取本町209-2  
第一印刷株式会社 TEL 0270-25-0919 FAX 0270-23-1290

締日	発行日	請求書番号	頁数
末締め	2025/11/04		1/1

前回御請求残	御入金額	繰越額	御請求額	消費税	御請求額合計
0	0	0	405,510	40,551	446,061

課税対象額(10%)	405,510	40,551
課税対象額(8%)	0	0
非課税対象額	0	0

\*振込手数料はご負担願います。

先  
通  
志

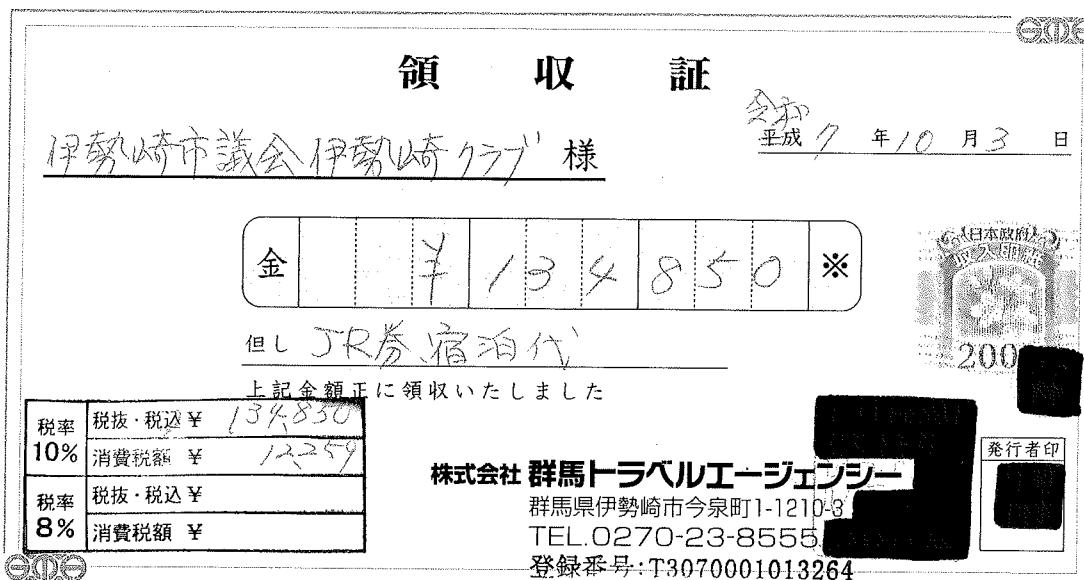
# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

26

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 11 月 6 日 (第 3 四半期)	支出額	105,740 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	① 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	伊勢崎クラブ会派行政視察 新潟県十日町市・五泉市	11月5~6日	

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



政務活動費の対象は97,240円とする。

【内訳】

- ① (JR券代14,770円+宿泊代12,200円) × 3人 = 80,910円
- ② JR券代14,770円 × 1人 = 14,770円 ※2日目の研修に参加しないため、宿泊代なしでJR券代のみ
- ③ キャンセル手数料1,560円 × 1人 = 1,560円 ※参加予定者1人欠席のため

## 政務活動費領收書等貼付用紙（繞紙）

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。) 整理番号 26

## 請求書

令和  
平成 7 年 10 月 3 日

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ様

ご旅行費用を下記の通り請求申し上げます

1. 旅行期間 2025.11.5～11.6

## 2. 行先 新潟

3 參加人員 5 名樣

合計￥ 134850-

登录编号:T3070001013264

GMA(株)群馬トラベルエージェンシー

〒372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町1丁目1210-3

TEL 0270 (23) 8555 (代表)

FAX 0270 (26) 3699

担当者

お手数ですが 月 日までに下記口座宛  
お振入いただきますようお願い申し上げます

合計 134850

### 取引銀行

## 普通預金

口座名 (株)群馬トラベルエージェンシー

税率 10%	税抜・税込￥ 消費税額 ￥
税率 8%	税抜・税込￥ 消費税額 ￥

## ご旅行精算書

平成 7 年 10 月 21 日

# 伊勢崎市議会 伊勢崎市議會 様

お引立を賜わり厚く御礼申しあげます。  
旅行費用を下記のとおり精算申しあげます。

株式会社 群馬トラベルエージェンシー

〒372 群馬県伊勢崎市今泉町1丁目1210-3  
TEL 0270(23)8555 代  
FAX 0270(26)3699

担当

登録番号:T3070001013264

受領総額 ¥ 134,850

(備考) 2025.11.5～11.6

旅行費用總額 ￥ 609,440

新開河

差引払戻金額  
請求金額 ￥ 25410

# ハカルヘルツの技術助言

# 旅 行 費 用 內 訣

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 26

2025年11月04日  
一連No0008  
領収No0001

## 領 収 書

伊勢崎りうづ

様

¥3,000-

外税対象 8.0% ¥2,778  
外税 ¥222

(但し として、正に領収致しました)  
印刷面を内側に折って保管願います

カドー・ドウ・リヨン  
(有)マルショ  
登録番号T9070002019800

群馬県伊勢崎市連取町3099-12  
電話 0270-21-4371

領 収 書 伊勢崎りうづ 様 2025年 11月 4日  
No. 0008581  
¥2,780- 税抜合計 ¥2,574-  
消費税等 ¥206-

但し、御品代として上記の金額正に領収しました。

収入  
印紙

創作菓子工房 有限会社 ボンワール  
群馬県伊勢崎市連取町3036-9 TEL 0270-24-0022

\*お願い\* この領収書は感熱紙につき保存に注意してください。

領 収 書  
No.1770

日付 '25年11月05日  
車番 000707 800  
基本運賃 ¥1070円  
迎車料金 ¥100円  
合計 ¥1170円

上記の通り領収致しました  
消費税率 10%  
毎度ご乗車いただき  
ありがとうございます

みどりハイヤー(株)

五泉市  
木越字石道1897-2  
電話番号  
0250-43-2323  
フリーダイヤル  
0120-43-2323  
お気付きの点はご遠慮なく  
上記迄ご連絡下さい

登録番号

T9-1100-0101-1621

領 収 書  
No.1766

日付 '25年11月05日  
車番 000707 800  
基本運賃 ¥1070円  
迎車料金 ¥100円  
合計 ¥1170円

上記の通り領収致しました  
消費税率 10%  
毎度ご乗車いただき  
ありがとうございます

みどりハイヤー(株)

五泉市  
木越字石道1897-2  
電話番号  
0250-43-2323  
フリーダイヤル  
0120-43-2323  
お気付きの点はご遠慮なく  
上記迄ご連絡下さい

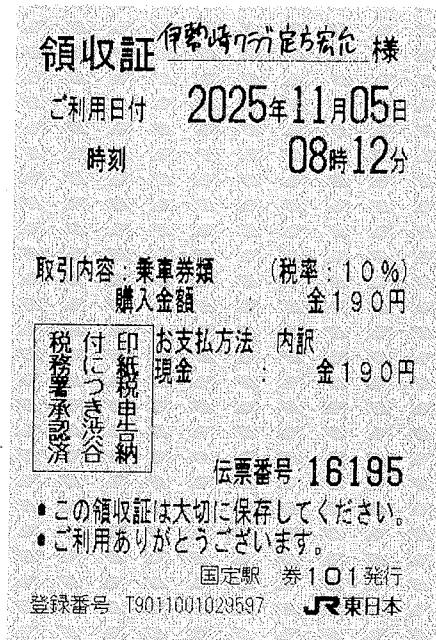
登録番号

T9-1100-0101-1621

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。）

26



## 領 収 証

伊勢崎アリーナ 宮方宏允 様

2025年11月 6日

金190円

ただし、乗車券類代  
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ 渋 谷
税 务 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社  
登録番号 T9011001029597

国定401 No.000003

令和 7 年 11 月 14 日

視察等報告書

整理番号 26

会派名	伊勢崎クラブ	報告者氏名	定方 宏允
日時	令和 7 年 11 月 5 日 (水) ~ 6 日 (木)		
事項	新潟県五泉市、十日町市行政視察		
場所	新潟県五泉市、十日町市		
参加者氏名	新藤靖・長沼宏泰・飯島学・定方宏允		
(目的・理由・内容) 別紙のとおり			
(成果・所感) 別紙のとおり			

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。  
なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

## 伊勢崎クラブ行政視察報告書

視察研修日：令和7年11月5日

場 所：新潟県五泉市

テ ー マ：「ラポルテ五泉」

氏 名：定 方 宏 允

ラポルテ五泉は、令和3年に開館した複合型公共施設で、文化・福祉・防災など多様な機能を備え、市民が世代を超えて交流できる場として整備されたものです。

五泉市が掲げる「みんなで支え合い、にぎわいのあるまちづくり」を具現化した施設であり、地域の新たな拠点づくりのあり方を学ぶ貴重な機会となりました。

施設の外観は木材を多用した温かみのあるデザインで、地域産材の活用を通じて地元の林業振興にも寄与しています。

館内には大ホール、図書館、子育て支援センター、高齢者交流スペース、市民活動室などが一体的に配置されており、利用目的の異なる人々が自然に交わる構造となっていました。

実際、視察時には子ども連れの保護者や高齢者グループ、学生などが同じ空間で思い思いの時間を過ごしており、「人が集い、つながる場」としての機能が十分に発揮されている印象を受けました。

また、バリアフリー設計やユニバーサルデザインの導入、防災拠点としての設備など、安心・安全に配慮した設計も特徴的でした。災害時には避難所として活用できるよう、備蓄庫や非常用電源などが整備されており、平常時は交流の場、非常時は防災拠点という二重の役割を果たしています。

このように、日常と非日常をつなぐ「公共施設の多機能化」は、今後の施設整備の方向性として大いに参考になると感じました。

運営面においても、多くの示唆を得ることができました。

五泉市では行政が主体となりながらも、地域団体、ボランティア、市民サークルなどが積極的に関わり、協働による運営が進められています。

特に印象的だったのは、「行政が提供する施設」から「市民と共につくる施設」へと意識転換がなされている点です。

指定管理者制度の導入により、民間の柔軟な発想を取り入れながら、利用促進イベントや文化事業の企画を行い、自主財源の確保にも努めていました。

このような取り組みは、人口減少や財政制約が進む中で、公共施設を持続可能に運営していく上で欠かせない視点であると改めて感じました。

さらに、市民との協働を推進するため、利用者との定期的な意見交換会やワークショップも実施しており、運営に市民の声を反映する仕組みが確立されています。

これにより、施設利用に対する愛着と主体性が高まり、単なる「箱もの」ではなく「地域コミュニティの中心」として機能していることが実感されました。

今回の視察を通じて、公共施設整備においては、建物というハードの充実だけでなく、運営や関係づくりといったソフト面の仕組みづくりが極めて重要であることを再認識しました。

ラポルテ五泉は、市民の多様なニーズに応えつつ、限られた財源の中で効率的かつ効果的な運営を実現しており、地方自治体が抱える共通課題に対する一つの先進的なモデルであると感じました。

今後、私たちの自治体においても、地域住民が主体的に関わり、世代を超えて交流できる公共施設のあり方を検討していく必要があります。

ラポルテ五泉での学びを生かし、市民との協働を軸にしたまちづくりや、複合化による機能的な施設運営の方向性を模索していきたいと考えます。

今回の視察は、地域共創と持続可能な行政運営の重要性を改めて考える貴重な機会となりました。

視察研修日：令和7年11月6日

場 所：新潟県十日町市

テ ー マ：「まちの産業発見塾」

氏 名：定 方 宏 允

このたび、私たちは新潟県十日町市で実施されている「まちの産業発見塾」の取組について行政視察を行いました。

地域資源を活かした産業振興や人材育成、そして地域内外の多様な主体の連携によるまちづくりのあり方を学ぶことを目的として訪問いたしました。

今回の視察を通じ、地域の課題に真正面から向き合いながらも、創造的な発想と市民の力で地域を再生しようとする十日町市の姿勢に深く感銘を受けました。

まず、「まちの産業発見塾」は、市内の企業経営者や若手後継者、商工関係者、行政職員、市民などが一体となって地域産業の可能性を探り、新たな価値を創出するための実践型学びの場であることを伺いました。

単なる研修や講座ではなく、地域の現場に足を運び、実際の課題解決に取り組む「共創の場」として位置付けられている点が特徴的です。

地域の一次産業から観光・文化産業、さらにはデジタル分野まで幅広くテーマを設定し、世代や業種を超えて意見を交わすことで、新たなビジネスの芽や地域課題解決のアイデアが生まれているという説明を受けました。

特に印象的であったのは、行政が単なる支援者としてではなく、学びの参加者の一員として関わっている点です。

行政が市民や企業と対等な立場で議論し、現場の声を直接吸い上げることで、実効性の高い政策立案へつなげている姿勢に、まさに「協働のまちづくり」の理想形を見る思いがいたしました。

地域の実情に即した政策形成のためには、このような双方向の学びの仕組みが極めて有効であると感じます。

また、地域の若者や移住者の参加も積極的に促しており、外からの視点を柔軟に受け入れる懐の深さが、十日町市の魅力をさらに引き出していると感じました。

産業の再生や地域ブランドの確立は、一朝一夕に成し遂げられるものではありませんが、「人づくり」を中心に据えた継続的な取組こそが、将来の地域力の源泉となることを改めて実感しました。

今回の視察を通じて、地域産業の発展には「人と人とのつながり」こそが最も重要であることを再認識しました。私たちの自治体でも、十日町市のように、市民や事業者、行政が共に学び、共に考え、共に行動する仕組みを構築することで、持続可能な地域づくりを推進できるのではないかと強く感じています。

今後は本市においても、この視察で得た知見を生かし、地域資源の再発見と新たな産業創

出、人材育成に向けた施策を検討してまいりたいと思います。

最後に、今回の視察を快く受け入れてくださった十日町市の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。地域の未来を担う「まちの産業発見塾」の更なる発展と、十日町市ますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

## 伊勢崎クラブ会派 行政視察研修報告書

伊勢崎クラブ 飯島学

令和7年11月5日

・新潟県五泉市 「ラポルテ五泉」

生涯学習と芸術文化の振興と観光と連携した産業振興の機能を併せ持った複合施設として整備を開始した。建設事業費は総額35億680万円で、一般財源と地域振興基金、起債（22億円）で費用をまかない、国の補助金等は一切受けず建設したこと。

目標年間利用者数を250000人/年としていたが、実績380000人/年と、目標を大きく上回り、好評の様子であった。

500席の多目的ホールや、屋内の子どもの遊び場のネット遊具はめずらしい遊具で、こどもたちに人気だそうで参考になった。また産地の農産物の直売所もあり、毎日地元の生産者が新鮮野菜等を持込み、にぎわっていた。

本市においても、道の駅と複合した公共スペースができれば、さらなる賑わいにつながると感じた。

令和7年11月6日

・新潟県十日町市  
「まちの産業発見塾」

十日町・津南町地域の中学生と高校生を対象に、地域を支える産業や企業について、知る場、理解する場、体験する場を設けて、地元十日町・津南町のついて学び、将来的な地元への就職へつながればとの活動であった。参加者合計741人、事業者数45事業所が参加して2日間開催された。十日町市は毎年1000人位人口が減少していくなか、地元の中学生や高校生に地元の企業をまずは知ってもらうことの大切さが必要と感じた。実際に地元企業に就職した生徒は2名ほどのようだが、人口減少、流出が続くなか、なんとか地元に残ってもらおうといろいろ努力していたことに、伊勢崎市でも中学生・高校生の生徒にむけた地元企業の産業発見塾を開催する意義は大きくあるものと感じた。

## 「脱炭素・循環型社会の推進による環境にやさしいまちづくりについて」

十日町市もゼロカーボンシティ宣言をしていて、いろいろな再生可能エネルギーへの取組を官民連携等の取組を試行錯誤しながら挑戦してきたとの事。今は公共施設への再生可能エネルギーとして、12の公共施設で太陽光発電を導入済みで、年間計画発電量11000KWhが主な実績であった。うまくいかなかった事業として紙おむつをペレット化し、給湯熱源に利用する再生可能エネルギーにも取り組んだが、コスト面で高額になり今は停止の状態であるとのことで、包み隠さずうまくいかなかった事例も教えてくれて参考になった。脱炭素、再生可能エネルギー活用の事業選択はとても難しい一面を感じたが、本市もゼロカーボンシティを宣言して、脱炭素政策に取り組んでいるので、どのような再生可能エネルギー事業の取組が良いのか、今後も調査研究を重ねて行きたいと思う。

令和7年11月5日 新潟県五泉市 ラボルテ五泉

新藤 靖

施設完成までに約17年。

五泉市の文化と産業の情報発信拠点となっている。当日も物産コーナーには多くの方々がいた。

3つのエリアに分け、

生涯学習エリアでは、500席の多目的ホール、平土間利用可能。利用者は市、指定管理者、学校、市民団体、企業など。

産業振興エリアでは、五泉市のおいしいを伝えるために、売り場で催事を開催。

直産物販の売り上げのうち、市内業者の物販が7割。

共用エリアでは、室内の子どもの遊び場、天候に左右されるこなく利用可能。

ハンドメイド雑貨やワークショップ利用も可能。

トイレも24時間使用可能。

地元の方をはじめ、多くの方に愛されている施設であると感じた。

令和7年11月6日 新潟県十日町市

新藤 靖

●まちの産業発見塾

事業予算150万円とし、市内の小学生、中学生、高校生をメインに行っている事業。授業の一環とし、毎年実施している。目的は、地元の学生に地域を支える産業や企業について「知る場」「理解する場」「体験する場」とし、将来の地元への就労、人材確保へもつなげる目的がある。

●脱炭素・循環型社会による環境にやさしいまちづくり

豪雪で有名な十日町市でありながら、12の公共施設に太陽光発電設備を早くから設置し年間計画発電量：110,000 k w h とし、令和6年度では95,000 k w h の実績があった。紙おむつをペレット化し、給湯熱源への利用の難しさ（お金がかかりすぎ）。温泉熱で河川水を加熱し消雪パイプに利用、下水熱で道路融雪、保育園・下水処理センターの空間利用などの取り組みを行っていた。豪雪地帯ならではの取り組みであった。

また、担当課から正直な話も聞けた。平成28年から取り組みはじめた事業だが、これからこの事業をどのように進めていくのか、進めていけば良いのか不安があるようであつた。

ラポルテ五泉

交流拠点複合施設は音楽など芸術や多目的に使えるホールを中心に産直、カフェテリア、子供の遊び場、庭園等がコンパクトに配置され年間利用率7割にも昇る施設運営は、参考になった。本市の東、赤堀、境地区の支所を今後整備する上でも取り入れるべき点があった。ロープのジャングルジム、面白いですね。

長沼宏泰

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

27

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 11 月 17 日 (第 3 四半期)	支出額	85,146 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 ② 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	伊勢崎クラブ市政報告会諸経費 11月16日開催 メガネのイタヤキ文化ホール伊勢崎		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



令和 7 年

2025年 11月 17 日

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ 様

¥14,960 —

但 友納理緒先生講演会たれ幕代として

収入印紙	
5万円以上	¥200
101~200万円	¥400
201~300万円	¥600
301~500万円	¥1,000
501~1千万円	¥2,000
1~2千万円	¥4,000

課税対象額 ¥13,600  
税率10% 消費税等 ¥1,360

現 金	✓
小切手	
振込	
PayPay	
Airpay	
相殺	

オフィス用品＆ファニチャー・OA機器・各種加工サービス

有限会社 **ヤナギサワ**

〒372-0033 群馬県伊勢崎市南千木町1797-14

TEL 0270-25-7691

FAX 0270-23-3995

Web Site <http://www.tomato21.co.jp>

E-Mail post@tomato21.co.jp

登録番号 T4070002019929



## 領 収 書

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ 御中

公益財団法人伊勢崎市公共施設管理公社

理事長 村井通浩

下記の金額を領収いたしました。

〒372-0014

群馬県伊勢崎市昭和町3918

TEL:0270-23-6070 FAX:0270-23-6047

金 15,200円

登録番号: T6070005004190

但し、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（伊勢崎市文化会館）の下記利用料として

申請番号	008030
------	--------

項目	利用日	利用時間	利用料(税込)
第6楽屋	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,540円
演台(小ホール)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	540円
スクリーン(1式)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,100円
舞台用机(2脚)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	200円
司会台(1台)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	100円
調光装置(小ホール)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,100円
シーリングライト(小ホール)(2セット)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,760円
フロントサイドライト(小ホール)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,980円
拡声装置(小ホール)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	1,100円
CDプレーヤー(1台)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	540円
マッチングボックス(1台)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	220円
ダイナミックマイク(1本)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	220円
ワイヤレスマイク(2本)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	2,200円
マイクスタンド(2本)	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	200円

次ページに続く

(※) 消費税率8%の対象項目	消費税率10%対象項目計(税抜)		消費税額	
	消費税率 8%対象項目計(税抜)		消費税額	



## 領收書

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ 御中

公益財団法人伊勢崎市公共施設管理公社

理事長 村井通浩

下記の金額を領収いたしました。

〒372-0014

群馬県伊勢崎市昭和町3918

TEL:0270-23-6070 FAX:0270-23-6047

金 **\*\*\*\*\*** 円

登録番号：T6070005004190

但し、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（伊勢崎市文化会館）の下記利用料として

申 請 番 号	008030
---------	--------

(*) 消費税率8%の対象項目	消費税率10%対象項目計（税抜）	13,819 円	消費税額	1,381 円
	消費税率 8%対象項目計（税抜）	0 円	消費税額	0 円

許 1033

## メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（伊勢崎市文化会館）利用変更許可書

申請番号 008030

令和7年11月16日

申請者住所 [REDACTED]

氏名又は団体の名称 伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ 御中

代表者氏名 野田 文雄 様

電話 [REDACTED]

利用責任者住所 [REDACTED]

氏名 新藤 靖 様

電話 [REDACTED]

公益財団法人伊勢崎市公共施設管理公社

理事長 村井 道治

令和7年7月24日付第008030号で許可された

メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（伊勢崎市文化会館）の利用の変更を、次のとおり許可します。

区分	利 用 年 月 日	利 用 時 間	施 設 名	利 用 目 的	利 用 料
変更後	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	小ホール	-	14,080円
	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	第6楽屋	-	1,540円
変更前	令和7年11月16日(日)	13:00~17:00	小ホール	-	14,080円
申請理由 6楽屋 午後 追加 変更日：令和7年11月16日				利 用 料 合 計	15,620円
				既 納 額	14,080円
				不 足 額	1,540円
				超 過 額	0円

附属

13,660円

合計

15,200円



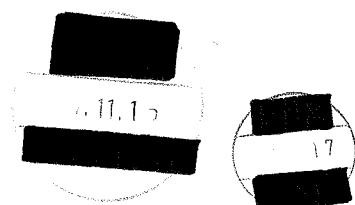
許 1033

第 008030 号  
令和 7 年 11 月 16 日

## 備品利用明細書

申請番号	008030
------	--------

備品名	利用時間	数量	利用料
令和 7 年 11 月 16 日 (日) 13:00~17:00 小ホール			
演台 (小ホール)	13:00~17:00	1式	540 円
スクリーン	13:00~17:00	1式	1,100 円
舞台用机	13:00~17:00	2脚	200 円
司会台	13:00~17:00	1台	100 円
調光装置 (小ホール)	13:00~17:00	1式	1,100 円
シーリングライト (小ホール)	13:00~17:00	2セット	1,760 円
フロントサイドライト (小ホール)	13:00~17:00	1式	1,980 円
拡声装置 (小ホール)	13:00~17:00	1式	1,100 円
CDプレーヤー	13:00~17:00	1台	540 円
マッチングボックス	13:00~17:00	1台	220 円
ダイナミックマイク	13:00~17:00	1本	220 円
ワイヤレスマイク	13:00~17:00	2本	2,200 円
マイクスタンド	13:00~17:00	2本	200 円
ビデオプロジェクター (ホール用)	13:00~17:00	1式	2,200 円
持込器具 (舞台)	13:00~17:00	2kw	200 円
合 計			13,660 円



# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 27

## 領収証

No. ....

伊勢崎737 様

7年11月16日

金額	9	5	4	4	3	2	—
----	---	---	---	---	---	---	---

上記正に領収いたしました 但 お茶480本代金

内

酒類・食品・LPG

大沢酒店

372-0831 伊勢崎市山王町1230  
☎<0270>25-2155(代)  
FAX<0270>25-2171



係

消費税等

現・小			

HISAGO N7078(3000)入 J651691

T4070002018583

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号

27

## 領収書

伊勢崎三和 様

〔証紙切手引受〕		
第一種定形	13.5g	
@110	5通	¥550
<hr/>		
小計		¥550
<hr/>		
郵便物引受合計通数	5通	
課税計(10%)	¥550	
(内消費税等(10%))	¥50)	
非課税計	¥0	
<hr/>		
合計	¥550	
口頭		
お預り クレジット	¥550	

〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
登録番号 T1010001112577  
取扱日時：2025年11月 4日 12:43  
発行No. 251104A6642 端N91箱01  
連絡先：伊勢崎三和郵便局  
TEL:0270-24-5559

## クレジット売上票

加盟店名 MERCHANT  
ニッポンユガビン  
TEL 0270-24-5559  
端末番号 TERM No  
71134-620-65444  
ご利用日 DATE  
2025/11/04 12:43:46

会員番号 [REDACTED]

カード会社 [REDACTED]

承認番号 APP CODE 0605346  
処理通番 TRAN No 0090009

取引内容 売上 TRAN TYPE	支払区分 一括 PMT TYPE	取扱区分 110
伝票番号 00377 SLIP No	有効期限 XX/XX EXP DATE	商品区分 990 COM CODE

合計金額  
¥550

/ 様

ARC 00 ATC 00704 No 02  
AID A0000000031010  
VISA

ご利用ありがとうございました  
またのご来店をお待ちしております  
お客様控え

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

28

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	柳 敦志
支出年月日	令和 7 年 11 月 17 日 (第 3 四半期)	支出額	150,895 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 7. 人件費	4. 資料購入費 8. 事務所費
備考	市政報告チラシ作成、新聞折込み、ホスピティ化代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 領 収 証

令和 7 年 11 月 17 日

伊勢崎クラブ 柳 様

金額	¥ 106,843 -
----	-------------



但し 議会報告ビラ作成代

上記金額正に領収いたしました

PUT UP

株式会社 プットアップ・スタイル

[東京オフィス] 東京都墨田区両国1丁目14番2号

Phone. 03-5669-0173 Fax. 03-5669-0174

[本社] 京都府城陽市平川町14番2号

Phone. 0774-53-5300 Fax. 0774-53-2122

登録番号 T2130001039469

内訳	品代(税抜): ¥97,130
	10%消費税: ¥9,713

## 政務活動費領收書等貼付用紙（統紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 28

登録番号 T2130001039469



## 合計請求書

伝票枚数 1枚



伊勢崎クラブ 柳 様

繰越残高(税込)	調整額	お買上げ額	消費税	合計ご請求額(税込)
		97,130円	9,713円	106,843円

上記の通りご請求申し上げます。なお、当請求書と行き違いでお支払いの節はご容赦ください。

振込先 株式会社ブットアップ・スタイル  
株式会社ノットアンド・スタイル

IV  
invoce

## 請求 明細書

伊勢崎クラブ 柳 様

登録番号 T2130001039469



# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 28

## 領 収 証

伊勢崎市立木柳

様

No.

★

7 9.432-

但 手取料 2450枚 ①3.5

7年 11月 11

日 上記正に領収いたしました

内訳

税率 10%	金額(税抜・税込) ¥575
税率 %	消費税額等 ¥37
税率 %	金額(税抜・税込)
税率 %	消費税額等

取  
入  
印  
紙

〒370-0126 伊勢崎市境下武士2694

天田新聞舗

所長 大橋 龍太

TEL 0270-74-3380

FAX 0270-75-1625

登録番号:T6070001011518

D211R18

## 領 収 証

伊勢崎市立木柳

様

No.

★

¥4,620-

但 うし手取料として 1,200本

11月11日

令和2年 11月 11 日 上記正に領収いたしました 登録番号 T3070001025862

内訳

税率 10%	金額(税抜・税込) ¥4,620-
税率 %	消費税額等 ¥420-
税率 %	金額(税抜・税込)
税率 %	消費税額等

取  
入  
印  
紙

〒370-0401 群馬県太田市尾島町138-1

統壳センター新太田株式会社

代表取締役 松本 貴之

TEL 0276-52-4611

FAX 0276-52-4808

## 領 収 証

伊勢崎市立木柳

様

No.

★

30,000 円

但 60枚×500円 = 30,000

7年 11月 12

日 上記正に領収いたしました

内訳

税率 %	金額(税抜・税込)
税率 %	消費税額等
税率 %	金額(税抜・税込)
税率 %	消費税額等

取  
入  
印  
紙

〒372-0022 群馬県伊勢崎市日乃出町705-2

特定非営利活動法人 わんぱくひろば

理事長 布施 佐知子

TEL 0270-75-1234

D211R18

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

29

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	宮田芳典
支出年月日	令和 7 年 11 月 19 日 (第 3 四半期)	支出額	34,100 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考			

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 書		No. 265384
<u>宮田 芳典</u> 様		7 年 11 月 19 日
金額	134100	収入
10% 内消費税	3100 円	印紙
但しメモサイン伊勢崎市役所 上記の通り領収致しました		
<b>登録番号 T1220001001734</b>		
<small>※注) 下記の領収書は無効とします            ①金額の抹消されたもの            ②社印なきもの            ③お得意様、担当者印のなきもの            ④複写によるもの</small>		
<b>取扱者</b>		

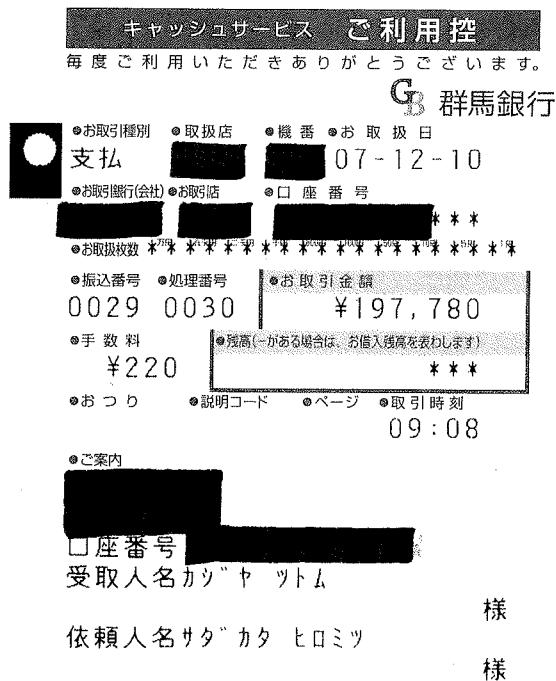
# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

31

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	足立義允
支出年月日	令和 7 年 12 月 10 日 (第 3 四半期)	支出額	198,000 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 ⑤ 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 4. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	
備考	市政報告作成・新聞折込み・ポスティング代		

## ◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 31

## 領 収 書

No.2025-007

発行日 2025年12月10日

伊勢崎クラブ 定方 宏允様

件名 「活動報告」チラシ印刷及び新聞折込

下記、正に領収いたしました。

金額： ¥197,780

但 「活動報告」チラシ印刷及び新聞折込



2010  
Create K クリエート ケイ

加治屋

魅

〒372-0844 群馬県伊勢崎市羽黒町17-9  
TEL: 050-1322-2234/080-3416-3931  
FAX: 0270-32-5299  
E-mail: create\_k2010@ybb.ne.jp

伊勢崎クラブ 定方 宏允様

No.2025-007

## 御請求書

件名：「活動報告」チラシ

下記の通りご請求申し上げます。

合計金額 197,780 円

No.	日付	摘要	数量	単価	金額
1	2025/12/8	デザイン・版下作成	1 式	30,000	30,000
2	2025/12/8	印刷 B4 両面カラー (新聞折込用) (ポスティング用) (郵送用) DM折り	4,800 枚 700 枚 1,000 枚	22 22 25	105,600 15,400 25,000
3	2025/12/8	新聞折込・ポスティング	1 式	21,780	21,780

〒372-0844 群馬県伊勢崎市羽黒町17-9

TEL: 050-1322-2234/080-3416-3931

FAX: 0270-32-5299

E-mail: create\_k2010@ybb.ne.jp

2025年12月8日

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

33

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和 7 年 // 月 // 日 (第 3 四半期)	支出額	7,830 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 ⑤ 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 [ ] 事務所費		
備考	伊勢崎クラブホームページ管理費		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

キャッシュサービス ご利用控			
毎度ご利用いただきありがとうございます。			
 群馬銀行			
支払	取扱店	機番	お取扱日
[ ]	[ ]	[ ]	07-12-11
●	●	●	●
お取扱枚数	お取扱店	口座番号	***
0078 0079			***
手数料	お取引金額		
¥330	¥71,500	***	
おつり	説明コード	ページ	取引時刻
			10:30
ご案内			
口座番号			
受取人名アハ"ウトネット(カ 様 依頼人名イセサキツキ"カイイセサキクラブ 様			

2025年12月1日

伊勢崎市議会 伊勢崎クラブ 御中

Yahoo!プロモーション広告正規代理店

アバウトネット 株式会社

〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町80-2

TEL 0270-75-3430 FAX 0270-75-3429

【振込先】

アバウトネット株式会社

アバウトネット株式会社

\*振込手数料は貴社にてご負担お願い申し上げます。

いつもお引き立て頂き、有難うございます。

下記の通りご請求申し上げます。

## ご請求書

ご請求額合計(税込)		¥71,500 一		ホームページ管理
売上日	品 名	数量	単価	金額
2025/12/1	管理費(7年4月～8年3月) 12ヶ月分 年間保守管理費用	12	5,000	¥60,000
2025/12/1	ドメイン更新料 (利用期間 7年4月～8年3月)	1	5,000	¥5,000
合計				¥65,000
消費税(10%)				¥6,500
税込合計金額				¥71,500

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号 34

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	経理責任者 定方 宏允
支出年月日	令和7年 //月//日 (第3四半期)	支出額	8,000 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	① 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考			

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 領 収 証

伊勢崎市議会伊勢崎クラブ様 No. \_\_\_\_\_

7,8000.

但 令和7年度 簇助会費として (16名)

入金日 2025年 12月 11日 上記正に領収いたしました

収入印紙

内訳 \_\_\_\_\_  
税抜金額 \_\_\_\_\_  
消費税額等 (%) \_\_\_\_\_

〒371-0007 群馬県前橋市上泉町1858-7

群馬県看護連盟

会長 藤井深雪

## 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

35

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	佐藤 智則
支出年月日	令和 7年12月13日 (第3四半期)	支 出 額	2,024 円
按分した場合	(金額) 4,048 円 × (按分率) 50 % = 2,024 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	プリンターインク代 (利用状況を考慮し、50%按分とする)		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 領収書

伊勢崎クラブ 佐藤智則 様

**4,048円領収しました**

但し:マツヤデンキ楽天市場店との取引として

**利用情報**

注文番号:380332-20251210-0322744354

注文日:2025年12月10日

お支払い方法: [REDACTED]

発送日:2025年12月13日

**領収者情報**

領収者:株式会社ヤマダデンキ

店舗名:マツヤデンキ楽天市場店

登録番号:T2070001036729

店舗住所:〒5570063

大阪府 大阪市西成区南津守7丁目14-41 津守

DC3階

電話番号:0570055880

**注文合計**

商品小計	4,048円
<b>総合計</b>	<b>4,048円</b>
<b>支払い金額</b>	<b>4,048円</b>

**支払い内訳**

4,048円

**課税内訳**

4,048円

10%対象

368円

うち10%対象消費税

※表示金額は全て税込です  
※支払い金額は総合計からポイントを除いた金額です**注文情報****配送情報**

配送方法:宅配便

お届け先住所: [REDACTED]

**商品明細**

明細種別	商品番号	商品名	数量	単価(税込)	税率	小計(税込)
初回注文	4191981018	ブラザー LC211-4PK【純正】インクカートリッジ お徳用4色パック	1	4,048円	10%	4,048円

※表示金額は全て税込です

## 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

36

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	飯島 学
支出年月日	令和7年12月16日（第3四半期）	支出額	344,960 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	市政活動報告書制作・印刷代・折込代・ポスティング代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

## 振込受付書

以下の内容で受付いたしました。

出金口座

[REDACTED]

ご依頼人名

イセサキクラブ イイジママナブ

お受取人

[REDACTED]  
[REDACTED]ダイイチインサツ(カ

振込指定日

2025年12月9日

金額

306,922 円

振込手数料

0 円

合計出金金額

306,922 円

メモ

受付日時

2025年12月9日 18:29

受付番号

2512000001

手続状況

手続済

- 受取人の入力内容に誤りがあると、振込が遅延したり振込先金融機関で入金ができずに資金が返却される場合があります。
- これは領収書ではありませんのでご留意ください。

住信SBIネット銀行

© SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

書求請

31-491 取扱市営鉄道

伊勢崎クラブ 飯島 學 御中 (00001047)

372-0817  
群馬県伊勢  
第一印刷社  
TEL 0270-

登録番号  
T8-0700-0101-3508

締日	発行日	請求書番号	頁数
未締	2025/12/04		1/1

前回御請求残	御入金額	繰越額	御請求額	消費税	御請求額合計
0	0	0	279,020	27,902	306,922

課税対象額(10%)	279,020	27,902
課税対象額(8%)	0	0
非課税対象額	0	0

※振込手数料はご負担願います。

先入派

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 36

**群馬読売IS**

## 領 収 書

No 000465

2025年12月12日

得意先コード

2264

伊勢崎クラブ 飯島学 殿

領 収 金 額 ￥ 11088

現 金	7	1	1	0	8	8	摘要
小 切 手							2025年1月10日分
手 形 ( / )							支拂済
振 返							
内 訳	現金費 10%		7	1	0	0	8

上記の通り領収いたしました。

扱者印

取 入  
印 紙

本証に連番号、社印、扱者印の無いものは無効です。

また、記入事項が特殊カーボンで複写されていないものは無効です。

株式会社 群馬読売IS

〒371-0804 群馬県前橋市六供町1039

TEL.027-212-0345 FAX.027-212-0346

登録番号 T7070001001026



## 振込受付書

以下の内容で受付いたしました。

出金口座

[REDACTED]

ご依頼人名

イセサキクラブ イイジママナブ

お受取人

[REDACTED]

ティーウィ ホームズ

振込指定日

2025年12月16日

金額

26,950 円

振込手数料

0 円

合計出資金額

26,950 円

メモ

受付日時

2025年12月16日 16:55

受付番号

2512000002

手続状況

手続済

- 受取人の入力内容に誤りがあると、振込が遅延したり振込先金融機関で入金ができずに資金が返却される場合があります。
- これは領収書ではありませんのでご留意ください。

住信SBIネット銀行

# 請求書

伊勢崎クラブ 御中

登録番号 202400001

請求書No 25121601

請求日 2025/12/16

下記をご請求申し上げます。

ご請求額： ¥26,950 お支払い期限：2025/12/31

前回請求額

今回入金額

繰越金額

今回請求額 ¥26,950

繰越・今回請求額合計 ¥26,950

取引日	品目	軽減税率対象	単価	数量	金額
2025/12/16	ポスティング・伊勢崎市宮郷エリア (道取町・道取本町・道取元町)		¥3.50	4837	¥16,930
2025/12/16	ポスティング・伊勢崎市宮郷エリア (伊勢崎市宮子町)		¥3.50	2163	¥7,571

「※」は軽減税率対象であることを示します。

消費税

¥2450

小計

¥26950

リハスワーク伊勢崎

〒372-9812

群馬県伊勢崎市道取町3295-3

振込先

群馬銀行 浦和支店

下記をご請求申し上げます。

口座種：

口座番号：

口座名義：合同会社TY Home's

備考欄

配布期間：2026/1/5-2/28

配布方法：軒並配布

サイズ：65

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

37

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	野田 文雄
支出年月日	令和7年12月16日 (第3四半期)	支出額	8,910 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費	4.	資料購入費
備考			

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

伊勢崎クラブ 野田 文雄 様

しんぶん赤旗  
領収書  
2025年4月～2025年12月

新聞・雑誌名	税率	部数	金額(税込)
しんぶん赤旗日曜版	8%	9	8,910

8,910円(税込)

(取扱先)  
日本共産党伊勢崎・佐波地区委員会 伊勢崎市北千木町2087 TEL 0270-25-4854

日本共産党中央委員会  
登録番号 T2700150120822

8%対象	8,910 円(税込)	消費税	660 円
10%対象	0 円(税込)	消費税	0 円

領収年月日  
12/16

扱者  
[Redacted]

しんぶん赤旗

# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

38

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	馬庭 充裕
支出年月日	令和7年12月18日 (第3四半期)	支出額	51,740 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費	3. 資料作成費 7. 人件費	4. 資料購入費 8. 事務所費
備考	市政報告印刷費		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

523R

## インターネット受付 払込受領証 (お客様控え)

Customer Copy

受付日時 2025年 12月 18日 時間 15時 13分

受付店舗 35994-2

伊勢崎市役所

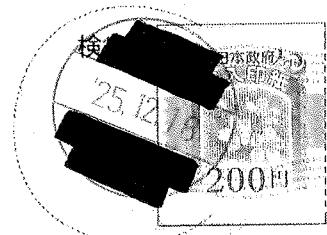
申込No. 3599473525480297

お申込商品代金 51,740円

受付番号: 835176

お客様氏名: 伊勢崎クラブ馬庭充裕 様  
0270214665

合計金額 51,740円



発行者 お問合せや領収書のご依頼は下記までご連絡ください

お問合せ先: 印刷通販プリントパック

電話番号: 0120-977-920

メールアドレス: pac@printpac.co.jp

お問合せ受付時間: 09:00-17:00

ホームページ: http://www.printpac.co.jp

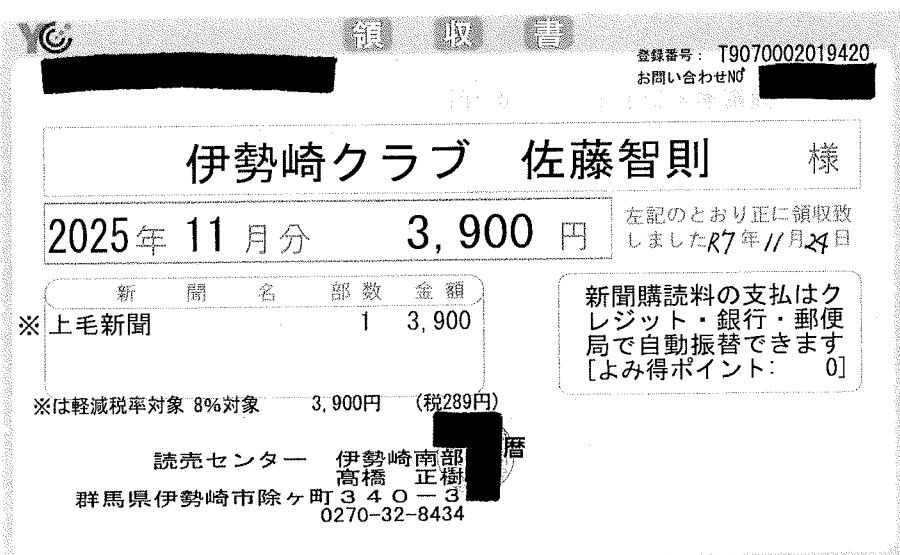
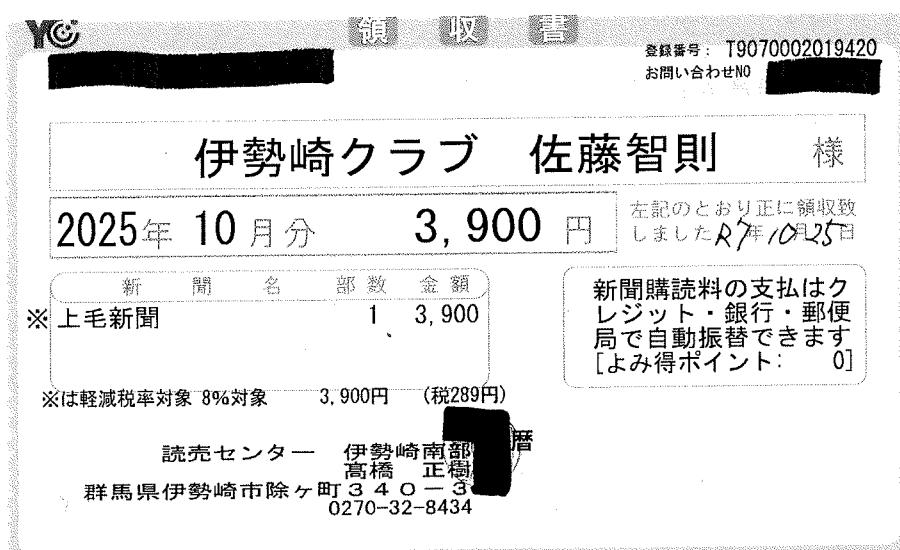
# 令和 7 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

39

会派名	伊勢崎クラブ	議員氏名	佐藤 智則
支出年月日	令和 7年12月21日 (第3四半期)	支 出 額	11,700 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	上毛新聞購読料 (10~12月分)		

## ◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 39

